

韓国における高等教育政策の動向と大学の現況

Trends of Higher Education Policies and Current Situation of Universities in Korea

安 東 由 則*

ANDO, Yoshinori

目次

1. はじめに
2. WWⅡ後の韓国の高等教育政策
 - (1) アメリカ統治下 (1945-1948)
 - (2) 第一共和国 (1948-1960)
 - (3) 第二共和国／第三共和国 (1960-1972)
 - (4) 第四共和国 (1972-1981)
 - (5) 第五共和国 (1981-1988)
 - (6) 第六共和国① (1988-1998)
 - (7) 第六共和国② (1998-現在)
3. 統計データから見た韓国高等教育の推移
 - (1) 高等教育機関の種類と現状
 - (2) 高等教育機関、学生、進学率の推移
 - (3) 少子化と受験人口の減少
 - (4) 大学ランキング
4. 現在における韓国の大学リストと大学の特徴
5. まとめと課題

注

引用・参考文献

*武庫川女子大学教育研究所・研究員、文学部教育学科・教授

1. はじめに

韓国の大学進学率は、世界でも最高レベルに達しており、OECD の統計（2010年度－文部科学省 2012『教育指標の国際比較平成24年度版』）では79.0%（純大学進学率）の者が大学に進学している。同年の日本における大学進学率は57.8%であるのに比べ、韓国のそれは非常に高い数字となっている。日本の大学レベル進学率は OECD 諸国の平均より低く、35カ国中24位、韓国は10位である（OECD 2012）。くらいで、また、韓国における1990年の進学率が33.2%であったのだから、20年間で倍増した計算になる（最高は2008年の83.8%）。こうした近年における韓国の大学進学率の伸びは、大きな注目を集めている。

日本における韓国高等教育に関する研究では、馬越（1995、2010他）による優れた研究が積み重ねられてきたものの、今日、このような高等教育機関への進学率によって注目されるまで、それほど目が向けられてこなかった。近年における急速で目覚ましい大学進学率の増加、さらには数々の大胆な改革によって、日本でも各方面から調査研究が蓄積されてきている¹⁾。

筆者は、これまで行ってきた女子大学研究をさらに進展させ、国際的な比較研究に取り組むべく、今回、韓国の大学に目を向けることとした。世界一の規模を誇るとされる梨花女子大学校をはじめとする韓国の女子大学を取り上げ、その歴史やカリキュラム、様々な数量的データを整理し、日本との比較を行うつもりであった。それに先立ち、韓国の高等教育の歴史や現況について、概略ではあっても把握しておく必要があると考えて研究に着手し、手探りで進めていったのである。ところが、これまでの高等教育についての知見はどうしてもアメリカの研究や動向が中心となり、韓国やアジアの国々の今日的現状、高等教育政策やその社会的背景などについて十分に知識がなく、理解をしていないことを思い知らされることとなった。そこで本稿では、女子大学を調査し、比較・検討に入る前段階の作業として、第二次大戦後における韓国の高等教育政策を概観するとともに、近年における大学校（韓国では一般に4年制総合大学を大学校と称するが、以下では大学とする）の変化を数量的データから概観し、現在の大学（校）リストを作成して現況の把握をすることとした。

以下の構成は次のようになる。1）まず、日本語による研究成果をもとに、第二次世界大戦後、日本の植民地支配から独立して後の大韓民国の高等教育政策の概略を整理する。2）近年（特に1990年以降）における高等教育機関への進学率、大学数や学生数の経年変化とその要因を、統計データと高等教育政策から確認する。3）韓国の4年制大学校の一覧表を作成し、漢字表記の大学名や学生数などの現況を示す。管見では、1997年に発刊された『韓国大学全覧』を除いて、漢字表記で韓国大学を確認できるものを見つけることができなかったのもので、漢字と英語表記で大学を示し、学生数などのデータを加えた簡単な一

覧表を作成した。

2. WWⅡ後の韓国の高等教育政策

ここでは、韓国が日本の支配から解放されて後、今日までの高等教育政策の特徴と変遷を、馬越の著作（1995、2010）を主たる拠り所として、韓国における統治（共和国）ごとにたどっていく。高等教育に関する主な法制度や政策、それに伴う出来事は、表1に経年の一覧表としてまとめた。

(1) アメリカ統治下（1945～1948）

日本の統治から解放され、現在の韓国はアメリカの統治下におかれた。それまで唯一の大学であった京城帝国大学は、京城大学へと名称変更が正式になされた（1945年10月16日）。その後、旧京城帝国大学のみならず、京畿道内にあった官立専門学校9校などと統合して、総合大学を設立するという方針が立てられたのである。そうして、1946年8月に「国立ソウル大学校設立法」を公布し、10月には開校式も挙行されたが、学生、教員双方から反対闘争やストライキが繰り広げられ、翌年7月にようやくの決着を見るまで紛争は続いた。当局の政策、態度が曖昧であったことや、大学側と専門学校側の既得権争い、理事会のあり方や、米軍当局への感情など、複雑な要因がからんでいたとされる。

戦前の朝鮮半島では、一つの官立大学しか大学として認められていなかったが、ようやく市民たちが自らつくり、「民族の学校」として近代の教育の推進を支えてきた私立専門学校が大学（校）への昇格を果たすこととなったのである。大学設置許可の申請が殺到し、文教部は1946年8月に延喜大学校、高麗大学校、梨花女子大学校の3大学校を認可した。いずれも歴史のある私立学校である。その後も大学の認可がなされ、表1中に示したように、1947年11月の段階で、国立4、公立4、私立12の大学校の設置が認可されていた。

(2) 第一共和国（1948～1960）

1948年に大韓民国として独立し、翌年12月には「教育法」が公布され、新たな教育制度が正式にスタートした。その法律において大学は、初級大学（2年）、大学（4～6年の単科大学）、大学校（4～6年の総合大学）の三つから構成されることとなった。その矢先、1950年に朝鮮戦争が勃発し、高等教育の整備は少なからず滞ることとなるが、大学生には徴兵保留措置が適用されたので、戦争中であっても学生数は増加した。特に1952年から54年は「大学ブーム」と称され、1950年に55校であったものが1955年には71校まで膨れ上がった（馬越 1995、176頁）。私立を中心に大学がつくられて、そこでは定員の大幅な

水増し入学なども平然と行われ、質の低下を招いたとされる。また同時期、1951年にソウルへの一極集中というアンバランスを是正するため「一道・一国立大学」の方針が出され、53年までに7国立大学が新設された。

こうした私学を中心とする安易な大学の増設は「大学の企業化」であり、質の低下を招くとの批判を受け、政府は1955年に「大学設置基準令」を制定して、大学設置の規制に乗り出した。既設の大学にも適用するが、それには6年の猶予をもたせている。これにより、表1中の表1-1（1955～58）にあるように、1958年には大学の数が前年比で23校（内、私立22校）も減少して56校となり、1950年と同水準にまで落ち込む結果となった。そこですぐさま「基準令」の適用を緩和したため、再び大学数は増加していくことになる。

朝鮮戦争後、反共の砦として韓国を位置づける戦略もあり、アメリカは韓国に対して大きな規模の教育援助を続けていった。その一つがソウル大学・ミネソタ大学協定（1954年開始）であり、大学教員をアメリカに留学させ、博士号を取らせるなどしていった。これが韓国の大学教員の質を上げ、高等教育をリードしていく人材を作っていたとされる。しかしながら、それはソウル大学校を中心とするごく一部の大学の教員に限られていた。

(3) 第二共和国～第三共和国：朴正熙政権前半（1960～1972）

民主化運動により李承晩を国外へと追いやったが、その後誕生した政権は脆弱で、翌1961年には軍事クーデターによる革命政権が成立した。以後、1980年まで軍事政権が続くこととなる。また、1962年からは「経済5か年計画」の第一次計画が実行され、1970年代からの経済成長の基盤づくりが進められていった時期でもある（KEDI 2011）。

この軍事革命政権は1961年に「教育に関する臨時特例法」を出し、「大学の統廃合」「大学の入学・卒業の国家管理」を含めたドラスティックな改革内容を示し、強権的に推し進めていこうとした（それまでの教育法および教育公務員法の効力を一時停止）。これまでの無計画ともいえる大学政策に対し、大きな変革をもたらすことになった。しかし、余りに急速で強引な改革のあり方は、大学をはじめ社会からも強い反発を招くこととなったのである。

1963年には形の上では民政に移行（第三共和国）し、朴正熙が大統領となったものの、事実上は軍事政権が続く。軍事革命政権下での急速で強権的なやり方を反省し、経済開発計画や調査に基づいて高等教育政策を練り、実行に移していくようになる。この頃の大きな課題は、私立学校の学生定員超過、その教育の質、ソウルへの一極集中と大きな地域格差、大学校（4年制総合大学）偏重、さらには文科系学科の比重の高さなどであった。国家の自立と経済成長を目指した政権は、こうした国家目標と絡めながら、長期計画に基づいた高等教育政策を実行していった。

表1. 韓国の高等教育政策に関する年表

統治(大統領)	出来事	年	政	策				
アメリカ統治 ～48		1945						
		1946	国立ソウル大学校設置法					
		1947	全20大学（国立4、公立4、私立12） 国立：ソウル、大邱農業、大邱師範、釜山水産　公立：大邱医科、光州医科、裡里農業、春川農業 私立：延禧、高麗、梨花女子、東国、成均館、センプラス医科（後、延世）、中央女子（後、中央） ソウルカソリック、国学、檀国、清州商科、大邱文理、					
第一共和国 (李承晩)	(独立)	1948						
		1949	「教育法」の制定（高等教育機関：初等大学、大学、大学校の三種類）					
	朝鮮戦争 ～53	1950	この年における大学数55校（ソウル中心）→ 是正のため国立大学を全国に設立へ					
		1951						
		1952	大学創設ブーム（～54）					
		1953	*1951-53　全国に7国立大学創設（慶北、全北、全南、済州、忠南、忠北、釜山） *「大学の企業化」だとして「亡国論」も叫ばれる　表1-1. 大学校の推移					
		1954	ソウル大学・ミネソタ大学協定（～58）等、アメリカの援助	年	国公立	私立	計	
		1955	「大学設置基準令」（既設6年猶予）制定し設置規制	1955	13	58	71	
		1956	その結果、1958年には大学数が減少した（右表）→	1956	15	59	74	
		1957		1957	17	62	79	
		1958	大学減少（右）と批判により「基準令」の適用緩和	1958	16	40	56	
		1959	→ そのため再び大学増加に					
	第二共和国（4月革命）		1960					
		軍事革命政権 (尹潽善60-62)	1961	「教育に関する臨時特例法」…軍事革命政権は「大学の統廃合」などドラスティックな改革案示す 「学校整備基準令」				
軍政（61-63）		1962	→ これに対しては大きな反発が起こり、政策修正へ					
第三共和国 (朴正熙)		1963	「私立学校法」：私立セクターにも法的要件設定					
		1964						
		1965	「大学学生定員令」：理工系を重視した定員政策／定員超過に厳しい姿勢 （…72年の4年制在学生専攻比率は理科系59.7％となる） ◎1960年代後半から上記を含む様々な改革案（特に1968年「長期総合教育計画審議会」の影響）					
	60年代 半ば ～ 90年代 半ば まで 経済成長 「漢江の奇跡」	1966	{ ・理系大学の創設－経済発展の基礎固め ・留学政策(朝鮮戦争後アメリカ中心に大学教員の送り込み…60年代後半がピーク) ・地方大学の創設（ソウル偏重ではない均整のとれた発展） ・実験大学の試み(自ら先導的な大学改革を…カリキュラム、卒業単位など柔軟に) ・大学入学予備考査開始（1968）(理工優先、地方国立優先、ソウルから地方へ) ◎大統領令により1968年「長期総合教育計画審議会」発足（～72解散） 中学校無試験入学措置…以降、大学進学希望者の大幅増加を 「長期包括教育計画（案）」の提出（国家発展に求められる人材養成、定員緩和による 高等教育の拡大、大学の質的保障、統制緩和と自律性確保等）					
		1967						
		1968						
		1969						
		1970						
		1971						
	第四共和国 (朴正熙)		1972	・実験大学　1973～1979に計39校	表1-2. 実験校指定大学（年度ごと）			
		1973		・高麗、西江、崇田、延世、梨花女子、仁荷、全南、中央、聖心女子、蔚山工（10大学）				
		1974	大学特性化プログラム（大学役割分担、地域振興） 高校平準化政策　始まる～	・ソウル、慶北、檀国、忠南、啓明、韓国外（6大学）				
		1975		・建国、釜山、淑明女子、亞洲工（4大学）				
		1976		・成均館、全北、漢陽、国民、（4大学）				
		1977		・慶熙、嶺南、圓光、弘益、釜山水産（5大学）				
		1978	総量規制緩和（←社会的・経済的需要圧力）	・東亜、朝鮮、慶尚（3大学）				
朴正熙 暗殺		1979	→定員拡大路線へ（前年比3万人増） →専門学校127校専門大学へ（18.5万増） ＝高等教育の二元化（4年制＋実業系短期高等教育）	・江原、公州師範、徳成女子、首都女子師範（後、世宗） 済州、暎星女子（後、大邱カトリックに統合）、忠北（7大学）				
(崔圭夏-80)								
軍政		光州事件	1980	→ 大学入学者を増やしたが、それでも5割弱が浪人				

統治(大統領)	出来事	年	政 策	参考・ 大学数
第五共和国 (全斗煥)	80年代 高度経済 成長期	1981	'80年代は、高等教育政策の大きな転換期	89
		1982	*放送通信大学の独立・拡充 (1982) 1982社会教育法+幼児教育振興法(生涯教育の推進)	97
		1983	*新しい大学の創設(1982開放大学…有職社会人や専門学校卒者の受け入れ/教員大学校等)	98
		1984	*単科大学→総合大学校 (新設80年代:19校、90-93年:20校)	99
		1985	*教育大学(2年制)→4年制 1984韓国大学教育協議会法(結成は1982)	100
		1986	*大学院の拡充 1985大統領直属「教育改革審議会」設ける	100
		1987	*私立大学の地方分散 (ソウルの大学が地方に第二キャンパス) 1987報告書:生涯教育を含め教育先進国の道筋示す	103
第六共和国 (盧泰愚)	オリンピック開催	1988	開放大学は、順次、産業大学校へ～1997	104
		1989	70年代終わり:延世、東国、成均館、漢陽、中央など	104
		1990	80年代:高麗、建国、慶熙、祥明、公益などがセカンドキャンパスを地方に	107
		1991		115
		1992		121
(金泳三)	OECD 加盟 経済危機	1993	総合大学化(大学校)が進む (専門大学から産業大学校なども進む)	127
		1994	大学総合評価制度開始(7年に一度)……大学教育協議会 随意入試(推薦入試)の導入…以後、拡大	131
		1995	「教育改革法」制定:自由化進展(「5.31教育改革」…特に、大学設置要件が大幅に緩和)	131
		1996	→ 1996以降、大学設置が大幅増加(大学設置基準の最小化)	134
		1997	「高等教育法」制定…7種類の高等教育	150
(金大中)	(IMF 介入)	1998	専門大学・産業大学の呼称の自由化(○○大学で通用)	158
		1999	BK21 (Brain Korea 21) Project:世界水準の大学院を育成し、優秀な研究人材養成→人的資源強国	158
		2000	→ 第一期(1999～2006):大学院集中育成と地方大学の特性化、第二期(2006～12)	161
		2001	サイバー大学の設立(～2002)	162
		2002		163
(盧武鉉)		2003	大統領直属・教育革新委員会 → 一極集中是正、機関の民主化・自由化 「高等教育の国際競争力強化政策」研究強化 COE や産学連携	169
		2004	大学構造改革方案(大学法人化や合併推進) 「国家近郊発展特別法」 NURI(地方大学革新力量強化事業)(～2008)	171
		2005	「私立学校法」改正:私立セクターにも法的要件設定	173
		2006		175
		2007	「蔚山設立に関する特別法」 「教育関連機関の情報公開に関する特例法」	175
(李明博～2013)		2008	「大学情報公開制」(大学情報提示義務化) 大学進学率83.8%(最高)	174
		2009	大学定員の設定:国立は定員を定められているが、私立はソウル首都圏を除き、原則自由	177
		2010	「統廃合特定基準」をこの年度から本格適用:「不実大学」排除へ	179
		2011	「大学構造改革委員会」(教育科学技術部長官の諮問機関)発足:「不実大学」の公表	183
		2012		189

参考文献:

- 馬越徹 1995、『韓国近代大学の成立と展開』名古屋大学出版会
馬越徹 2010、『韓国大学改革のダイナミズム』東信堂
劉仁鍾(馬越徹訳) 1978、「韓国の大学教育改革における実験大学の役割」『大学論集』6、1978、pp.213-230
水谷健輔他 2010、「第1章 韓国における高等教育制度と大学の設置形態」『国立大学財務・経営センター研究報告』13、pp.15-39
石川裕之 2012、「韓国における高等教育の質保証システムと学習成果アセスメントのインパクト」『学習成果アセスメントのインパクトに関する総合的研究(研究成果報告書)』pp.131-156
KEDI 2011、[Brief Understanding of Korean Educational Policy](#).

まず1965年に「大学学生定員令」を出して、私立大学を中心とする定員超過の問題に厳しく臨むとともに、文科系が多かった大学の定員を、理工系を重視したものへと変えていった。今後の経済発展、産業の近代化を見据えての大学定員策定であり、これ以後、大学の入学定員増加は抑制されていくこととなる。この政策により、全高等教育機関卒業生の専攻分野（文科・理科・師範）のうち理科系の占める割合は、1963年に39.6%であったものが、1973年には42.0%へと増加した。4年制大学に限れば、1972年度の在学生において、理工系定員比率は59.7%となり、実に6割を占めるまでに急増した（馬越 1995、206頁）。

さらに、国立ソウル大学校を基幹大学と位置付け、集中的に投資をした「ソウル大学校総合化十ヵ年計画」、正規留学生および技術訓練生のアメリカを中心とする海外への留学・派遣、調和のとれた発展をはかるため地方大学の定員増化などの政策が、次の1970年代（第四共和国）にかけて実行されていった。

この期で特筆すべきことは、1968年、大統領令により「長期総合教育計画審議会」が発足し（1972年解散）、1970年に「長期包括教育計画（案）」が提出されたことである。各種調査により集めたデータと、国家の発展戦略に基づいて作られたこの計画は、向こう15年間に出現するであろう諸課題とそれへの具体的目標を示した。①国家発展に必要な高級人材育成、②定員緩和による高等教育の拡大、③大学の質的保障、④高等教育機関への統制緩和と自律化、⑤大学院の強化、などである（前掲書 202頁）。これらの具体的な表れは1970年代なので、次の第四共和国にて扱うこととする。

1968年には「大学入学予備試験」が開始された。これは私立大学にも適用され、入学定員の水増し増加防止に貢献するとともに、大学生の質を担保するものでもある。さらに、受験志願者の地域的な偏りを是正し、マンパワー政策として専攻分野のコントロール（理工系重視）を可能とするものでもあった。

特筆すべきこととして、もう一つ付け加えるなら、高等教育政策ではないが、1969年から実施され始めた「中学校無試験入学措置」を挙げることができる。これにより、中学入学希望者はほとんどが入学できるようになり、進学率は急上昇した。この下からの進学圧力の増大は1973年の「高校平準化」²⁾へと向かわせ、さらには70年代後半に大学への進学熱を急速に高めていくきっかけとなった。

（4）第四共和国：朴正熙政権後半（1972～1980）

70年代は、上で見た政策が実行されていった時期であった。ソウル大学校の総合化、地方大学への定員増加（ソウル集中の解消、バランスのとれた発展）、国家のマンパワー政策に沿った理工系専攻増加へのシフトなどである。

「実験大学」政策もそのうちの一つである。長期包括教育計画に示された目標の一つと

してあり、高等教育への統制緩和と高等教育機関の自律化政策の一環といえる。文教部による実験大学選定は高等教育機関の改革を推し進めるためであり、その目的として「大学の自律的教育運営を認め、漸進的改革を原則とし自己改革能力のある大学をまず選定し、この大学に先導的な改革の役割を担当させるのである」（劉 1978、218頁）とした。つまり、入学定員管理や専攻のコントロール、地方への分散などは外から国家管理によって行ってきたのだが、教育方法や内容といった改革については、国が外側から一律に、強権的に行うのではなく、大学の内側から自律的に実行していけるようにしようとするものである。その先駆けとして、いくつかの大学を指定し、実験的な試みを行い、他のモデルとすることが目的であった。具体的には、①重複科目などを洗い出して卒業単位を削減し、そこで生じたゆとりを利用して授業の中身を充実させる、さらにはカリキュラムを改変すること、②入学者募集を学科から系列にし、大学に入学してから適性を探るような課程にすること、③副専攻を導入し、学問間の関連を重視し、社会的ニーズに弾力的に対応できる学生を育成する、④能力に応じて卒業単位を弾力化し、卒業年限の短縮を可能にする、といったことである（劉 1978、馬越 1995）。

1973年から1979年までの7年間、選定が続けられ、表1中の表1-2に示すように合計39校が実験大学の指定を受けた。馬越（1995）によれば、この期間に申請した大学は78校、当時の全4年制大学の93%にのぼり、そのうちの50%が認定されたことになる。結果的に、伝統のある大学が選ばれ、予算配分がなされた。その結果、選定された大学はより「エリート」化していき、大学選ばれなかった大学との格差が開いたとの指摘もなされる。あるいは本当に下からの自律的な変化につながったのかといった批判もきかれた。ともあれ、一方的な官僚主導から、大学と行政の連携を探る、大学の自律的な取り組みを促すといった試みがなされた意味は大きい。

この時期の量的な面での大きな変化は、1978年の大学入学定員の「総量規制緩和」がなされたことである。先にみたように、1968年の中学校無試験制度、そして1973年に高校平準化政策が導入（1974年施行）されたことで、高校進学者が大幅に増加し、1978年には高卒者の79.9%が大学進学を希望するようになっていた。大学への入学志願者に対する入学定員の割合は、1969年に39.9%であったものが、1978年には23.9%まで小さくなった（馬越 1995、238-9頁）。大学（4年制のみ）の総定員は、1968年の129,750人が、1978年には243,910人となり、10年間で1.88倍に増加したにも関わらず、割合が縮小したのである（前掲書、245頁）。それだけ大学への進学希望熱は高まっていた。生徒や家族のみならず、経済界も高等教育の拡大を望んでいたのである。

こうした状況から、政府は大学入学定員の規制緩和へと大きく舵を切り、大学への入学定員の増加（約3万）の他、専門学校を専門大学としてその入学定員（約7.8万）を大学入学定員に加えた。1978年の4年制大学入学定員7.6万にこの二つが加わると、1979年の

総入学定員は18.5万人となり、入学定員は一挙に2.5倍に増加した計算となる。それでも大学進学志願者の半分にすぎなかった（前掲書、242, 254頁）。

(5) 第五共和国（1981～1988）

1979年に朴正熙が銃弾に倒れた後、全斗煥を中心とする軍部が実質的な権限を握った。翌年、光州で起きた民主化運動を弾圧し（光州事件）、さらに崔圭夏を辞任させて全斗煥が大統領となって、1981年から第五共和国が始まった。第三、第四共和国同様、軍部出身の政治家による政権が続いた。

1980年代は、韓国が高度経済成長を遂げた時期である。大学入学定員の量的緩和の流れと、経済の高度成長の流れに乗り、人々の大学志向はより高まり、韓国の高等教育は大きな発展と遂げることとなった。全斗煥政権は「平生（生涯）教育」の振興に力を入れ、これを促進した。1982年には社会教育法と幼児教育振興法を制定し、制度面から生涯教育を保障していく措置をとった。さらに1985年には教育改革審議会をつくり、その報告書をもとに生涯教育体制が整備されたのである。まず、継続教育の拡大でいうと、有職社会人が学ぶための開放大学をつくった。選抜も書類選考のみ、授業形態も柔軟にした。その他、放送通信大学を拡充・充実させるなど、勤労者が学びやすいよう高等教育機関を充実させていった。

この他、まだまだ強まっていく大学進学熱に対応するため、大学（4年制単科大学+大学校）の新設（80年代には19大学の新設）、単科大学の総合大学化（3学部+大学院）、教育大学の4年制化、地域格差是正のためにソウルにある大学の地方分校（セカンド・キャンパス）をつくるなど、高等教育機会の拡充策が継続して実行された。

(6) 第六共和国①（1988～1998 経済危機まで）

1987年6月29日、与党の大統領候補の盧泰愚大統領候補が民主化宣言を行い、国民による直接の大統領選挙や、民主化運動の象徴である金大中の赦免などを約束した。翌1988年、直接選挙によって選ばれた盧泰愚が大統領となり、第六共和国がスタートする。この年、ソウルオリンピックが開催され、国際社会でも民主国家として認められるようになった。その後、1993年には元軍人ではない金泳三が大統領に就任して、久しぶりに文民政権が誕生した。さらに韓国は1996年にOECDへの加盟が認められ、先進国の仲間入りを果たしたが、翌年（1997）には経済危機に陥り、これまで長く続いてきた経済成長は止まった。

高等教育では、この間も第五共和国期と同様、大学の総合大学化が続き、1990～93年の4年間で20校が総合大学となった。つまり、3つ以上の学部をもち、大学院をもつようになっていったのである。1993年には大学院の在籍者数は10万人を突破し、大学院の整備も

急速に進んだ。

1993年には元軍人の盧泰愚が去り、金泳三が大統領に就任して文民政権が誕生すると、直接選挙で選ばれた文民大統領ということもあり、国民の反応を意識した政権運営が顕著に現れるようになったとの指摘もある。馬越の言葉を借りれば、高等教育政策においても「それまでの上意下達方式から需要者（国民）および当事者（大学人）中心方式への政策転換がはかられた」（2010、41頁）ことになる。例えば、就任直後の1993年に学事行政の自由化（教科課程編成）、94年には学科別入学定員廃止（各大学の裁量による）、95年に編入学・転学科の大幅緩和、そして96年には前年制定の「教育改革法」によって決められた大学設立・運営の「準拠主義」が適用されたのである。

編入学・転学科の大幅緩和とは、大学に入学してからも学生の適性に合った大学に移りやすくするというもので、学校歴主義の強い韓国³⁾の学生側の要望を取り入れた政策と言える。言わば、アメリカにおけるトランスファー（transfer）を取り入れたようなものである。この大幅緩和は、より威信の高い伝統大学を目指す「第二の入試」（馬越 前掲書、45頁）を引き起こし、大学に大きな混乱をもたらした。

諸政策の中でも大学設置・運営の「準拠主義化」は、これまでの設置許可基準（校舎、校地、教員、財産等）を大幅に緩和化するものであり、この政策を境として大学数は激増し、定員も大幅に増えて需要を上回るまでになった。進学率の伸びも急速で、1993年に38.4%であったものが1997年には60.1%となり、たった4年間で20%以上も伸びたことになる。また韓国では少子化が進行し、1990年を小さな山のピークとして18・19歳人口が急速に縮小していったことも、急速な進学率の伸びに貢献した（後掲の図2参照）。労働市場の需要を無視した大衆迎合的な政策はやがて、労働市場とのミスマッチ、大卒者の非就職率の高さなどの問題を引き起こすことになる。

1994年には、大学の相互評価である「大学総合評価制度」（7年に一度実施）が大学教育協議会によって始められていた。事後における品質のチェックである。規制を緩和して自由につくらせるが、事後に相互評価というチェックをかけて、基準に満たないものは切っていくという新自由主義的な政策（競争と選択の原理）を取り入れたということだ。しかし、このように大きく流れが変化する中で、大学教育の質を保障できたか、チェック機能がうまく働いたかという点に関しては、大きな批判も出てきている。

(7) 第六共和国②（1998～現在）

1997年のアジア経済危機により、韓国も国家破産寸前の経済危機に陥り、IMFが介入するなどして何とか最悪の事態を回避した。この経済危機のさなかの1998年、大統領に就任したのが民主化の象徴でもあった金大中である。この国難を乗り越え、国家を再生させるため、「構造調整」、日本でいう「構造改革」が声高に叫ばれ、世界を意識し、グローバ

ル化を目指した様々な取り組みが国を挙げて矢継ぎ早になされていく。とはいえ「国民の政府」を標榜し、人々の評価や人気を意識する姿勢はポピュリズムとも揶揄されるが、この後の大統領、盧泰愚（2003～08）、李明博（2008～13）にも強く引き継がれていく。

金大中は次世紀でのさらなる国家的発展をめざし、1999年にBK21（Brain Korea 21世紀）事業を立ち上げた。それは国際競争力のある大学の育成、世界水準の大学院と研究人材の育成（科学技術、人文社会科学、地方大学育成、特定分野の育成）を集中的に支援する高等教育人材養成プログラムであり、第一期（1999～2005）では実に1兆3,421億ウォン（2000年当時の日本円で約1280億）が投入された（前掲書、83頁）。世界水準を標榜するこの計画では、ソウル大学を中心とする20校前後の威信の高い大学の、特に自然科学系分野への集中投資がなされた。このプロジェクトは後の政権にも引き継がれ、2006年より第二期プロジェクト（～2012まで）が実施され、総額2兆ウォンを超す投資がなされた。

BK21が始まった年、金大中は将来の情報化社会、IT社会を見据え、「Cyber Korea 21」プロジェクトを立ち上げ、世界に先駆けてITのインフラ整備を積極的に推し進めていった。もちろん、大学もそうしたIT環境、インフラをいち早く整えていくこととなる。

2003年に政権の座に就き、「参与の政府」を標榜した盧泰愚も、前政権の流れを踏襲しながら、「構造調整」、大学改革に取り組んでいった（2006年からはBK21の第二期プロジェクトを開始）。特筆すべき政策として、2004年から始まったNURI事業（New University for Regional Innovation Project）を挙げることができる。先のBK21が世界に通用する大学・大学院を育て上げることを目標にしているのに対し、NURIは国内の首都圏の大学と地方大学の間にある大きな格差の是正を狙った。「国家均衡発展特別法」の制定と同様、根強く残る地域間の不均衡を是正しようとするものである。様々な面で劣位に置かれ、経営状況が厳しい地方大学を特性化させ、競争力をつけさせ、地方の発展につなげようとする新たな事業であり、2008年までの5年間に1兆4,000億ウォンを投入した。BK21と並ぶ大きな高等教育政策として位置づけられた。

この政権で注目すべきもう一つの政策は、2004年に正式に確定された「大学構造改革方案」である。これは大学の特性化を促進するとともに、大学の統廃合を積極的に推し進めて類別化し、入学定員の削減を図る、さらには大学院の量的拡大にストップをかけ質重視へ転換するなどの内容からなる。特に、少子化の中、あまりに肥大した大学数、入学定員を減じ、大学の体質改善を行おうとするものであり、拡大路線からの是正・転換が明確に図られた。さらに盧政権は、私立大学の不正経理や横領などの経営問題が後を絶たないことを受け、私立学校法を改正して私学のガバナンスの透明性や民主性を高めようとして、大学の情報公開制を決めた。

2008年、財閥企業の社長やソウル市長などを経て、与野党交替で大統領となった李明博は、CEO大統領などとも称された。先進一流国家建設のために前政権を引き継いだ「第

二次科学技術基本計画」(2008～12)を大幅に修正してまとめ、「577イニシアティブ」として打ち出した。「WCU (World Class University: 世界水準の研究中心大学)」育成事業も就任後すぐに立ち上げ、2012年までの5か年計画で始めた。また、NURI事業を引き継ぐ形で打ち出した「教育力向上事業」は、従来の地方大学育成の側面もあったが、より競争的資金配分を強化した。

大学評価制度についてもメスを入れ、韓国大学教育協議会が行ってきた7年に一度の総合評価認定を廃止し、2009年より各大学が作成した自己評価報告書を2年に一度作成して公表する義務を負わせた。従来の第三者評価機関による認定については任意とした。大学の統廃合については、その基準をつくり、引き続き実施していき、定員の削減などを図っている。また、前政権で作られた「教育関連機関の情報公開に関する特例法」が2008年から施行され、13領域約50項目の情報を各大学ウェブサイトで公開と、教育科学情報部への提出が義務付けられた(現在、www.academyinfo.go.jpで公開)。

3. 統計データから見た韓国高等教育の推移

(1) 高等教育機関の種類と現状

韓国には2012年現在、12種類の大学⁴⁾があり、その合計は389校に上る(表2)。そのうち主たるものは一般的な4年制大学で189校あり、全体の約半数を占める。次に多いの

表2. 韓国の高等教育機関 (2012年現在)

高等教育種類	学校数	学生	教員	入学生	卒業生	高等教育種類 (英語表記)
専門大学	142	769,888	13,078	238,952	188,468	Junior College
(一般) 大学	189	2,103,958	61,993	372,941	298,727	University
教育大学	10	18,789	842	3,923	5,225	Univ. of Education
産業大学	2	95,533	286	2,718	20,781	Industrial University
放送通信大学	1	254,652	149	28,822	25,401	Air & Correspondence University
サイバー大学(1)	17	106,080	524	25,829	18,900	Cyber University (Undergraduate)
サイバー大学(2)	2	4,784	32	2,336	1,017	Cyber University (Junior College)
遠隔大学(1)	1	1,032	8	267	300	Distance University (Undergraduate)
遠隔大学(2)	1	2,515	16	777	1,158	Distance University (Junior College)
技術大学	1	143	-	58	49	Technical College (Undergraduate)
-	-	44	-	18	14	Technical College (Junior College)
社内大学(1)	1	94	10	16	32	College in the Company (Undergraduate)
社内大学(2)	2	129	2	64	40	College in the Company (Junior College)
専攻大学	3	10,745	199	4,302	2,694	Specialization College
技能大学	12	26,505	881	9,173	6,370	Polytechnic College
各種学校(1)	4	4,333	184	812	851	Miscellaneous School (Undergraduate)
各種学校(2)	1	34	7	18	22	Miscellaneous School (Junior College)
(合計)	389	3,399,258	78,211	691,026	570,049	

出典: KEDI (Korean Educational Development Institute) <http://cesi.kedi.re.kr/> (2013年2月5日)
高等教育機関の日本語表記については、石川裕之 (2011) を参考とした。

は142校ある2～3年制の専門大学、日本で言うところの短期大学で、これが36.5%の割合である。この2種類の大学で全体の85%に達する。その他の主な種類としては、教育大学10校、サイバー大学17校などである。2010年に11校、2011年に9校あった産業大学は合併や総合大学化により2校となった。

4年制の189大学に限れば、国立大学が31校で16.4%、私立大学は156大学で82.5%、公立大学はわずか2大学、1%に過ぎない。その学生数でみると、78.2%を私立大学が占める。学校数で77.2%、学生数で73.4%を私立大学が占める日本よりも、私学占有割合は若干高くなっている（2012年の4年制大学のみ－文部科学省「学校基本調査」）。

(2) 高等教育機関、学生数、進学率の推移

第二次大戦後における高等教育の伸びを見てみよう。図1は戦後から2010年までの高等教育機関とそこに在籍する学生数を経年で示している。わずか19校であった高等教育機関は、20倍以上増加し、411校までその数を増やした。あまり滞ることなく順調に数は伸びたが、特に朴政権下の1960年～65年と、1990年～2005年の間での伸びが大きい。90年代の伸びは、金泳三政権下での「準則主義化」などの政策の影響が大きい。しかし近年では、大学の統合政策なども進められ、少し減少した。学生数は大学数とは異なった上昇の仕方を示している。1970年代まで、大学数は順調に伸びたものの、量的にはそれほど大きな増加ではなかった。それが1980年以降、急激な伸びを示した。1975年に31.8万人であったものが80年には64.7万人へと倍増し、その5年後の85年には145万人、さらに1990年に170万人、1995年では234万人に達した。1978年に入学定員の総量緩和がなされ、学生数は大きく伸び始めた。さらに80年代半ばは、「平生教育」としての開放大学や放送通信大学

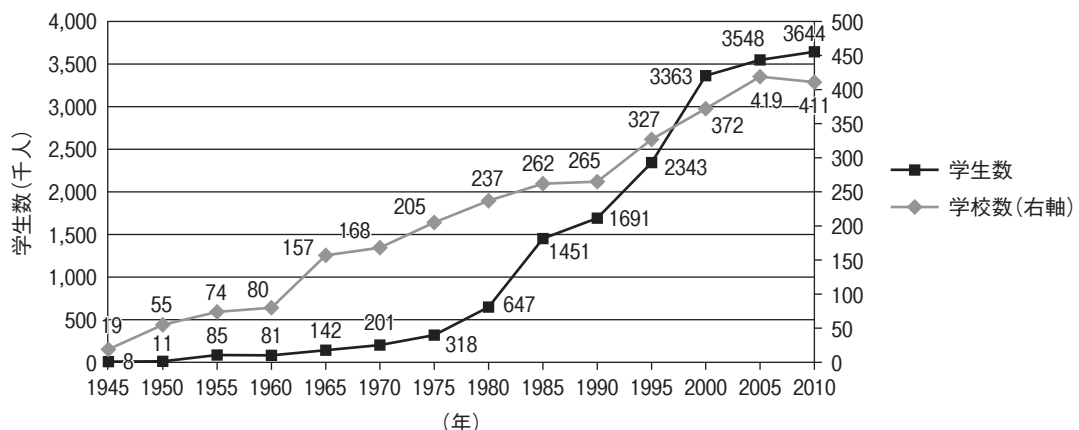


図1. WWⅡ後の高等教育機関と学生数の推移

出典：The Korean Educational Development Institute 2011, Brief Understanding of Korean Educational Policy

の設置、学部増設等による総合大学化や第二キャンパスの建設などが推し進められた時期である。90年代は先にも述べた「準則主義化」が大きな影響を及ぼしている。2000年頃から頭打ちにはなってきたが、2010年時点では約360万人である。日本の大学・短大合計の学生数は約304万人（2010年）であるから、総人口で半分以下の韓国の方が、高等教育の学生数で日本を上回っている。これは社会人大学生の多さによるところも大きい。

図2は1990年以降の4年制大学と短大（専門大学）数、大学進学率の変化を示したものである。1990年代を通じて、大学、短大はほぼ同数で、同じような伸びを示したが、2000年を境として短大は伸び悩み、むしろ数を減らしてきている。これに対し4年制大学は、統合・合併が進められる中であって、伸びは小さくなったものの数を着実に増やし、2010年には179校、図には示していないものの2012年には189校となった。

進学率は1990年代半ばから急速に伸びた。1993年には38.4%で、進学率が停滞していた日本と同水準であったが、設置基準「準則主義化」、「随意試験（推薦入試）」の導入などの政策により、大学およびその定員の拡充へと大きく方向転換したことから、進学率は飛躍的に伸びることとなる。その結果、2003年に79.2%となり、わずか10年で進学率が倍増した。翌2004年には80%を超え、2008年には83.8%まで達したが、それ以降下がりはじめ、2010年に79.0%、2011年には72.5%となった（中央日報 2012年3月19日ウェブ版）。わずか3年で10ポイント下がったことになる。とはいえ、オーストラリアやフィンランドと並んで、世界最高水準にあることに変わりない。

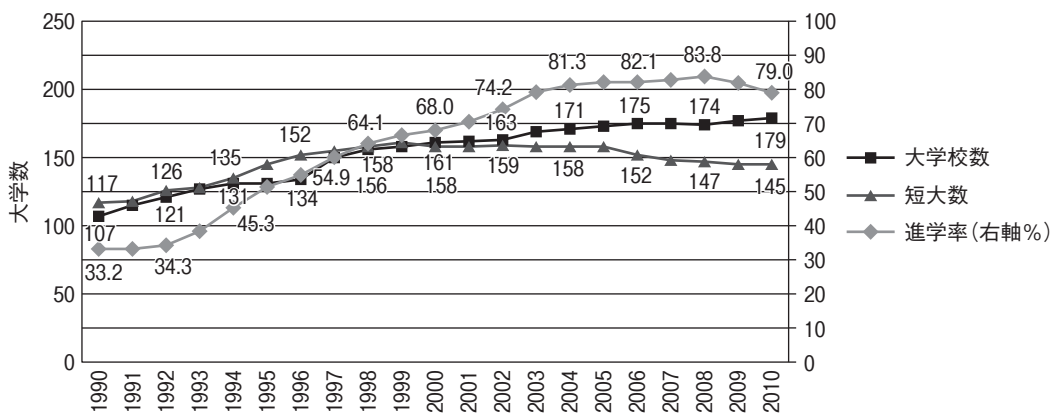


図2. 大学・短大数と進学率の推移

出典：韓国教育開発院・教育統計サービス (<http://cesikedi.re.kr/>)「教育統計年報」

次の図3は、1990年以降の4年制大学（教育大学や産業大学は除く）と短期大学（専門大学）の入学定員の推移を示したものである。大学の入学定員は1990年からの10年間で約12万人、率にして60%も増加したことになる。短大はそれ以上で、同期間に16万人、率に

して125%の増加であった。いかにこの時期の拡大が急速であったかが分かる。しかし2000年以降は大学で横ばい、短大では減少していつている。大学は2000年から2007年までに14校増加したが、定員は1万人程度増えたにすぎない。この間に短大は10校減少し、定員は5.6万ほど減って、2000年比で80%となった。この要因としては、少子化による受験学生数の減少、少子化や定員割れの大学といった現状を受けて出された「大学構造改革方案」（2004年正式決定）により定員の削減や大学の統廃合が明確に進められるようになったこと、私立大学のガバナンスの透明化といった政策の実行が影響を及ぼしていると考えられる。

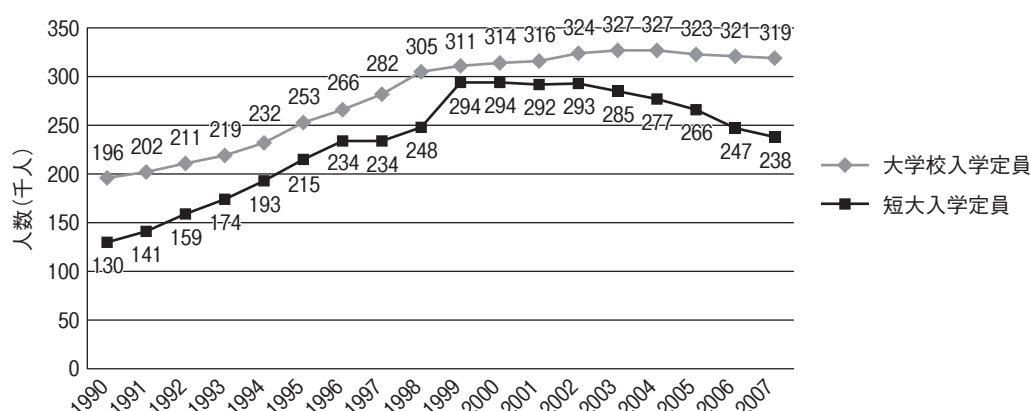


図3. 入学定員の推移

出典：韓国教育科学技術部 HP (http://english.mest.go.kr/web/1734/site/contents/en/en_0228.jsp)

(3) 少子化と受験人口の減少

少子化と18才の受験人口の推移については、図4から少し詳しく検討してみよう。受験人口の推移については、韓国の統計にあった18歳と19歳の人口を合計したものを掲載している。よって、これを2で割った数字がおよその18歳人口となる（以後、2で割った数字を使用）。1980年には約92万であった18歳人口は、増減しながら下がっていき、20年後の2000年には83万にまで落ち込んだ。約10%の減少である。これを小さな頂点として、以降は急速な減少となり、2006年には約62万人まで落ち込んだ。わずか6年間で20万人、25%近くの減少である。先に見た入学定員の抑制、減少はこの急速な落ち込みの期間に行われたことである。

その後、2012年までは少しもちなおして70万人まで増加するが、それ以降は10年以上に及ぶ一本調子の減少が続くことになる。韓国では、2005年に最も低い合計特殊出生率1.08を記録するが、その年に生まれた子どもたちが受験年齢に達するのが2024年である。今日

の70万が、2024年には43万となることが見込まれる。実人数では約27万、率にして38%の減少である。既に子どもは生まれているのであるから、大規模な移民政策などが取られない限り、ほぼ確実な数字といえる。1980年の18歳人口を100とすると、2000年は90、2010年で74、2024年では46となり半数以下になる。たとえ100%が進学したとしても、2007年時点の大学と短大だけの入学定員約55万人（教育大や産業大などの定員を含まず）であれば、10万人もの定員割れが起きる。それはわずか10年後の現実なのであり、急激な対策が促される理由でもある。

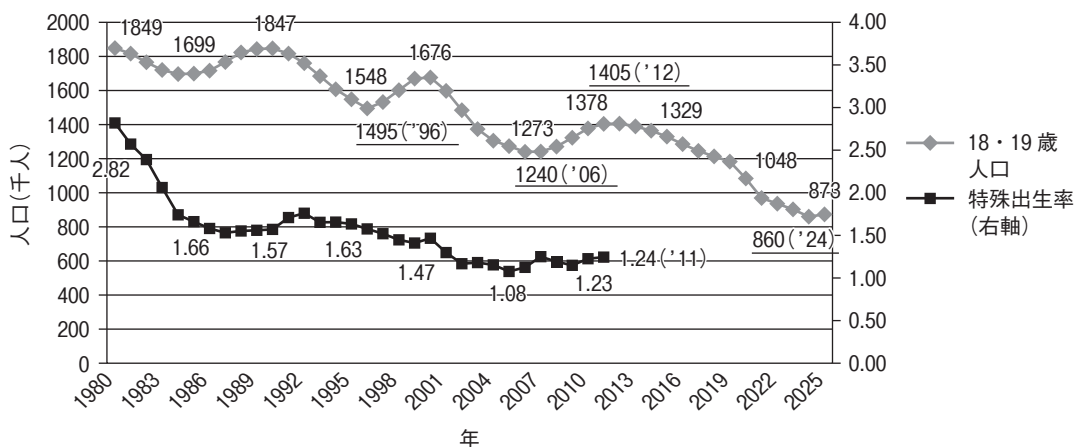


図4. 18・19歳人口の推移および予測と特殊出生率の推移

出典：Korea Statistical Information Service (<http://kosis.kr/eng/>)

注：図中で下線のない数字は5年ごと

(4) 大学ランキング

大学は学問や科学技術など研究・開発の拠点であり、世界レベルの高い水準を目指すことはある意味で当然とされる。また、グローバル化が進み、国際標準が適用され、様々なランキングが発表される中で、国を挙げて、特に理科系を中心に世界で戦える研究・開発拠点としての大学・大学院を育てようとするようになってきている。特に韓国は1996年の経済危機以降、世界水準の研究拠点大学づくりを目指した、国家を挙げての取り組みは顕著となっている。それはBK21プロジェクトに最もよく表れており、世界水準の大学院、世界水準の優秀な研究人材を育て上げ、「人的資源強国」をつくろうとする意図で、巨額の研究資金を投じて始められた。李明博大統領によるWCU（World Class University）プロジェクトも同様の意図であり、特定の大学院を中心に巨額の研究資金が投じられた。ノーベル賞級の研究成果、そして様々な大学ランキングでの上位進出が目指されている⁵⁾。

その成果はどうだろうか。ここではイギリスの大学評価機関QS（Quacquarelli

Symonds) が提供している大学ランキングを使用し、2005年以降の推移をみていく (表3)。こうしたランキングは、発表する機関によって指標やその比重の置き方が異なること、またどうしても欧米が有利になるといったことも指摘され、様々な批判があるが、一応の目安として取り上げた。

表3. 大学の世界ランキングから見た韓国の大学 (QS 大学ランキングより)

大学名 (英語)	大学名 (漢字・カナ)	2005	2006	2007	2008	2009	2010	2011	2012
Seoul National University Korea	国立ソウル	63	63	51	50	47	50	42	37
KAIST : Korea Advanced Institute of Science & Technology Korea	韓国科学技術院	198	198	132	95	69	79	90	63
POSTECH : Pohang University of Science & Technology	浦項工科	245	245	233	188	134	112	98	97
Yonsei University	延世	484	484	236	203	151	142	129	112
Korea University	高麗	150	150	243	236	211	191	190	137
Sungkyunkwan University	成均館	520	520	380	370	357	343	259	179
Hanyang University	漢陽	491	491	416	344	339	354	314	249
Ewha Womans University	梨花女子	535	535	552	401-500	397	348	344	341
Kyung Hee University	慶熙	506	506	504	401-500	374	345	245	270
Sogang University	西江	531	531	398	501+	379	397	392	391
Pusan National University	国立釜山	489	489	459	501+	371	392	401-450	401
Inha University	仁荷			508	501+	451-499	451-499	451-500	501
Hankuk University of Foreign Studies	韓国外国語							359	354
Kyungpook National University	国立慶北	537	537	493	501+	501-600	451-500	501-550	501
Chung-Ang University	中央	437	437	423	401-500	501-600	551-600	501-550	551
University of Seoul	ソウル市立								501
The Catholic University of Korea	韓国カソリック								451

出典：QS Top Universities (<http://www.topuniversities.com/university-rankings/>)

2005年は、“The Rank of Korea’s Major Universities in International Evaluation” Lee, Hye-Jung
「Higher Education in Korea 2009」より

■ 国公立大学 ■ 女子大学

表3を見ると、2005～2007年で100位以内ランクインしたのはソウル大学のみで、93位、63位、51位と上昇しながら推移した。2008年には KAIST が加わり 2 校がランクインし、2011年からは POSTECH を含む 3 大学となった。KAIST、POSTECH とともに理工系の大学・大学院で、他のランキング (例えば The Times Higher Education) ではソウル大学を上回ることもある。国立の KAIST はソウル大学と並ぶ国家の威信をかけた理料系の大学で、理系大学院の中心でもある。後者の POSTECH は韓国の浦項製鉄 (現ポスコ) によって1986年に設立された新しい工学系の大学・大学院であるが、海外から著名な研究者を招致し、英語で授業を行うなどして、急速に業績・評価を伸ばした大学である。

その後に、延世、高麗、成均館といった私立の名門大学が100位台にランクインした。2006年まで100位台は1ないし2校であったが、2012年では3校となり、ベスト200には計6校が入っている。特に延世と成均館は大きく順位を上げ、躍進をした。さらに、200位

台には漢陽、慶熙の2校、300位台には唯一の女子大学である梨花女子と、近年躍進が著しい西江が入っている。

ちなみに、日本の大学は100位以内に6校（最高は東京大学の30位）、200位以内では10校がランクインしている。ランクの推移では、日本が停滞（特に外国からの教員や学生の受け入れなどでの低評価が影響）しているのに対し、国を挙げて国際化を図る韓国が急速に追い上げている。

4. 現在における韓国の大学（University）リストと大学の特徴

韓国の大学についてほとんど何も知らない状態から始め、その概要を把握しようとするとき、どのような大学が、いかなる規模で、どこに位置し、どのような歴史をもつのかといった基礎情報をまとめようとした。しかし、韓国における大学名やその現状を知ろうとしたとき、日本の文献で紹介しているものは少ないようだ。唯一まとめたものとして、駐日本国大韓民国大使館教育官室監修で、遠藤誉・鄭仁豪編著による『韓国大学全覧』（1997）がある。留学生や彼らを支援する大学教員への情報提供のために、『中国大学全覧』（1996）に続いて、編集・発行されたものだ。1995～97年時点における、4年制大学の名称と学部・大学院等の組織、学生数、教員数、学校の沿革等がまとめて掲載されている。特に、大学名も含めて漢字で表記されているものは、管見では、この文献以外にほとんどないのではなかろうか。

今日の4年制大学の把握については、韓国政府が営む「Higher Education in Korea」サイト（<http://heik.academyinfo.go.kr/main.tw>）の“College Info”から、“University”カテゴリーを検索し、そこに現れた大学のみをリストアップした。韓国では“要求者”の利益のため大学に関する情報の透明性を高めるとともに、留学生の受け入れなど、大学のグローバル化をめざした施策が進められている。その一環として大学情報に関するネット上のサイトを作り、英語を含めた情報公開を積極的に推進しており、その成果が先の「Higher Education in Korea」⁶⁾であり、留学生のための「Study in Korea」（<http://www.studyinkorea.go.kr>）である。こうした英語サイトを使って大学情報を収集した。

2011～2012年における韓国4年制大学の一覧作成のための主たる情報源は、以上の二つ（本とネット）である。しかし、『韓国大学全覧』が編集された1997年以後に創設された4年制大学も多く、さらに近年、統合・合併も盛んに行われるようになっている。よって『韓国大学全覧』に記載がない大学などについては、あるいは記載があっても大きな組織変更があったと思われる大学については、それぞれの大学ホームページにアクセスし、情報を確かめた（大学HPについては参考文献に記載していない）。そうして作成した大学リストが後掲の表4である。

表は地域、大学名（漢字・カナ表記）、大学名（英語表記）、大学種別、設置者、宗教、2011年の学生数、1996年の学生数、4年制大学創設年、組織改変から構成されている。掲載した大学は、表2に示した種類のうちの4年制大学で、（一般の）大学（University）、教育大学、産業大学のみとした。サイバー大学や各種学校（例えば韓国文化遺産大学など）は表の後ろに簡単な内容を記載した。宗教については、教会・教派が直接創設したのか、あるいは宗教的な意図を持った個人が創設したのかによってかなり意味合いが異なり、判別がしにくい。ここでは、筆者の判断で宗教色が強いと判断したもののみを示した。調査が不十分であるため、これ以外に宗教色の強い大学も少なからずあると思われる。2011年の学部学生数は先に挙げた“College Info”から、そして比較のために1996年の『韓国大学全覧』に示された学生数も併せて掲載した。なお、2011年の学生数については、“College Info”で示されていない大学についてはそのHPで調べたものもある。その数字がどの年度か不明なものについては“？”をつけるなどして示した。4年制創設年については、いわゆる「大学校」としての認定された年度ではなく、4年制大学と認定され、学生が入学した年である（認定された年の翌年になることが多い）。しかしながら、その年の特定は確かなものではない。『韓国大学全覧』記載データを根拠に判断したのだが、師範大学をどうみるか（2年制と4年制）、4年制大学学力認定校指定などの記述もあり、判断は難しい。一つの目安として見てもらいたい。

なお、大学の掲載順に関しては、下の図5に示したソウル特別市、6広域市、9道（済州特別自治道を含む）ごととした。さらに、国立（特別法による設立大学を含む）・公立・私立に分け、アルファベット順で並べて示した。以下、今日における韓国4年制大学の特徴を記述していく。

・大学の地域的偏在 韓国の人口は、2012年時点で5,094万人、ソウル特別市1,019万、京畿道1,209万で、さらに仁川広域市の人口を合わせると2513万人となり、総人口に占める割合は49.3%と約半分になる（ソウル聯合ニュース日本語版 2013年1月21日）。このように、ソウル周辺の北西部に人口が集中しており、地域的に大きな偏りがある。人、モノ、カネがソウル近辺に集中し、地域格差が大きいことが今日の韓国の特徴であり、格差縮小・解決が大きな課題となっている



図5. 韓国の行政地域区分

る。よって当然のことであるが、この首都圏域（ソウル、仁川、京畿）に4割を超える大学（第二キャンパスを除く）が集中しており、特にソウルにはソウル大学、延世大学、高麗大学の“SKY”と称されるトップ3、さらには成均館、漢陽、慶熙、梨花女子といった威信の高い伝統校がひしめいている。

・私立大学への偏り 設置者別にみると、一般大学では私立セクターが圧倒的に多い。韓国国立教育統計情報センター（2012）によれば、2012年度の大学数（一般大学のみ）は、国立31校、公立が僅か2校（ソウル市立と仁川市立）、私立156校で合計189大学となり、私立の割合が82.5%を占める（但し、表4に示した大学は一般大学188大学であり、残りの一校は特定できない）。学生数では、総数約210万人のうち、国立42.7万、公立3.2万、私立は約164.5万人で、私立大学の割合は78.2%となって、多数を占める。教育大学10校は全てが国立大学、産業大学は国立も私立もあるが、近年では総合化や合併により、多くの産業大学は一般大学になっている。ちなみに、日本の4年制大学全体で私立大学の占める割合（2012年度）は、大学数においては77.2%、学生数では73.4%となる（文部科学省 2012）。ただ日本と異なり、大学ランキング上位には私立が多く、前掲の表3のベスト10（2012年）ではソウルとKAIST以外、私立大学である。

・大学規模：小規模校の多さ 最も学部学生数が多い大学は、慶熙大学の約25,000人（第二キャンパス含まず、以下同様）で、2万人を超える大規模大学は8大学を数える。このうち慶北大学以外は全て私立大学である。その一方、非常に少人数の大学も少なからずある。1,000人未満の大学は33校、1996年の「大学設立運営規程」が定めた大学設立最小規模400人を基準にとれば（朴 1998）、在学生がそれ以下の大学は15を数える（但し、学生数が不明な大学もあるので、実際の数はいくらか増える可能性が高い）。神学系大学など宗教関連の大学が多い。

朴（1998）によれば、宗教系大学に限らず、こうした小規模大学は1996年の設立基準の大綱化（準則主義）によって次々に誕生した。自律的に大学憲章を制定し、特性化された大学の創設を促し、大学の多様化を図ろうとの政策をとった結果である。1996年末の4年制大学数が145校であったのに対し、同年に大学設立計画書を提出したのは62校、審査の結果、1997年3月に開校したのは18校であった（朴前掲、68頁）。約30%が許可されたわけであるが、その数は既存の大学数の1割を上回る。こうして小規模大学が増加した。

・大学の定員割れ 大学規模で見たように、小規模な大学が少なくない。学生数が基準の半分、200名以下の大学も見受けられる。1990年代の大綱化の流れ、特性化・多様化を目指して小規模大学が数多く創設され、専門大学が4年制大学となったが、少子化の中で

の学生集めは厳しい。特にソウル志向が強く、地域格差が大きい韓国にあって、地方大学は苦しい状況にある。表には示していないが、大学情報が公開されている“College Info”には、大学の学生定員、在籍者数、定員充足率などの数字が掲載されており、その率がかかなり低い大学も地方では見受けられる。

金によれば、2008年度における新入生充足率は、地方私立大学で94%（地方私立専門大学では87%）、新入生充足率が60%未満の大学は22校（専門大学では19校）を数える（2010、37頁）。馬越はもっと厳しい数字を示しており、地方大学では定員充足率が7～8割台、南部の全羅南道（光州を除く）では6割台に低迷し、ソウル首都圏や一部の広域都市のみが100%近い状況だとしている（2010、140頁）。地方の私立大学や専門大学が置かれた状況は特に厳しい⁷⁾。

・不実大学／閉鎖命令　2011年に発足した「大学構造改革委員会」は、同年9月に就職率や上で見た定員充足率、専任教員保有率など8～9項目の指標を評価し⁸⁾、4年制大学28校、専門大学15校を「不実大学」として実名⁹⁾を公表した。これらの大学は、次年度から政府の財政支援や新入生への学資貸し出しが制限されることになる（石川 2012、140頁）。これに関して教育科学技術部の李周浩長官は、中央日報と韓国教育開発院が主催の教育フォーラムで、「政府財政支援制限大学43校に含まれた大学がすぐに構造調整対象になるのではない。大学が自助努力を通じて来年の評価時にリストから脱出しなければならない」（中央日報 2011年9月7日）と話し、すぐさまの閉鎖ではないものの、早急な自助努力による改善を迫っている。

実際、閉鎖を命令された大学もある。韓国教育科学技術部は、2012年8月23日、高等教育法の62条1項（設立・経営者による重大過失）に反したとして（約30の規定違反）、Holy City Univ. に閉鎖命令を出した¹⁰⁾。これは2000年の Kwangju Arts Univ.（光州芸術大学）、2008年の Asia Univ.、2012年の Myungshin Univ.（明信大学）と Sunghwa College（成和大学－専門大）に次ぐ閉鎖命令であった。問題を抱えた大学は少なからずあり、閉鎖の継続も予想される¹¹⁾。

・大学合併・統合、定員減　急速な少子化の進行と大学の定員割れを踏まえ、2004年には「大学構造改革方案」を出して国立大学の統合を加速させ、2006年には私立大学に対しても統廃合を促進する政策を打ち出した。表にもあるように、釜山大と密陽大、全南大と麗水大、江陵大と原州大といった総合大学と、専門あるいは産業大学との統合などが行われている（馬越 2010、127-9、141-2頁）。しかし、実際には統合がスムーズに進まないことも多い。KBS World（日本語版 2007年12月21日）によれば、2008年中に見込まれる統合として全北大と群山大、慶尚大と昌原大、江原大と江陵大などを挙げたが、これらは

まだ統合されていない。また同紙によると、教育人的資源部（現 MEST）は2009年までに大学・専門大学358校の四分の一にあたる87校前後を統廃合する計画だとしたが、実現していない。私学でも、釜山の東明大と東明情報大、嘉泉医科大と嘉泉吉大、乙支医科大とソウル保健大など統合・合併が行われ、名門梨花女子大学でも15学部を11学部とし、定員を10%減らした（KBS World 2007、井手 2010）。

・**宗教系大学** 日本外務省が HP で提供している韓国に関する統計によれば、宗教人口比率が53.1%、その内訳は、仏教42.9%、プロテスタント34.5%、カトリック20.6%となっている。大学の設立、経営においても、宗教関連のものが少なくない。表4には、明らかに宗教関連の団体あるいは個人によって設立されと思われる大学の上に記号を付しており、その数は少なくとも60大学くらいはあるようだ。国立大学を含めた4年制大学（大学校）189大学のうち約3割、私立大学のみであれば4割にも及ぶ。日本と比べればかなり高い比率である。宗派で最も多いと思われるのがプロテスタント、次にカトリックが続くが、宗教人口比からすると仏教関連の大学は非常に少ない。宗教関連の大学はセミナーを兼ねた小規模なもの、近年の規制緩和により4年制大学となったものも少なくない。19世紀末の開国後、韓国に入ってきて布教をしたキリスト教団体がつくった学校をもとにした大学もあり、その代表として延世大学、梨花女子大学などプロテスタント系の大学が挙げられる。カトリック系では、韓国カトリック大学も近年、伸長が著しい。

・**女子大学** 韓国の教育統計には、女子校、男子校という区分がある。4年制大学の中で女子大学は梨花女子大学、淑明女子大学、誠信女子大学、ソウル女子大学、徳成女子大学、同徳女子大学、光州女子大学の7校で、すべて私立である。また光州女子大学を除き、他はすべてソウルにキャンパスがある。表には掲載していないが、専門大学（短期大学）でも女子大学は7校ある。日本の4年制大学数は783校（2012年度）で韓国の4倍ほど、そのうち女子大学は国立2校、公立2校、私立は73校で合計77校あり、全体での女子大学割合は、日本が9.8%であるのに対して、韓国は3.7%となり、半分以下の比率である。ミッション系の大学は梨花女子大学とソウル女子大学の2校である。中でも梨花女子大学は医学や法学の専門大学院、文系学部のほかに工学や経営学などを含む11学部、学部生約18,000人を擁する総合大学で、国内の大学ランキングでも10位以内に入る名門校として知られている。大学ランキングでは淑明女子大学がこれに次ぎ、この2校が他を引き離している。女子学校として出発した学校も少なくないようだが、共学化していった学校も多い。女子大学については、別稿にて論じることとする。

表 4. 韓国の大学リスト (2012)

地域 No.	大学校名 (漢字・カナ)	大学校名 (英語)	設置 種別	宗教	学生数 (2011年)	学生数 (1996年)	創立年 (4 年制大学)	改組等
1	韓国スポーツ	Korea National Sport University	大学校 国立		2,461	1,252	1976	
2	ソウル	Seoul National University	大学校 国立		16,623	22,192	1946	
3	ソウル科学技術	Seoul National University of Science and Technology	大学校 国立		???	9,684	1982 (京畿開放大学)	88ソウル産業、10現名
①	ソウル教育	Seoul National University of Education	教育大 国立		1,822	2,478	1981 (62ソウル大2年制)	93現名
4	ソウル市立	The University of Seoul	大学校 公立		8,972	4,764	1956 (ソウル農業4年制)	74産業 81市立 87総合
	韓国カソリック 第二campus	The Catholic University of Korea 2nd campus	大学校 私立	Ca	499			
	韓国カソリック 第三campus	The Catholic University of Korea 3rd campus	大学校 私立	Ca	211			
5	総神	Chongshin University	大学校 私立	Cp	1,759	1,200	1969	
6	秋溪芸術	Chugye University for the Arts	大学校 私立		1,221	-	1997	
7	中央	CHUNG-ANG UNIVERSITY	大学校 私立		13,943	16,913	1947 (中央女子)	48現名、53総合
8	同徳女子 ○	Dongduk Women's University	大学校 私立		7,790	6,070	1952	87総合
9	東国	Dongguk University	大学校 私立	B	14,010	15,779	1946	53総合
10	徳成女子 ○	DUKSUNG WOMEN'S UNIVERSITY	大学校 私立		6,206	5,214	1952	88総合
11	梨花女子 ○	Ewha Womans University	大学校 私立	Cp	15,732	18,000	1945	
12	韓国外国語	HANKUK UNIVERSITY OF FOREIGN STUDIES	大学校 私立		8,981	17,407	1954	80総合
13	漢城	Hansung University	大学校 私立		7,376	3,030	1972 (漢城女子大)	78現、93総合
14	漢陽	Hanyang University	大学校 私立		15,634	22,287	1948 (漢陽工大)	59総合
15	韓栄神学	Han Young Theological University	大学校 私立	Cp	757	-	年不明 夜間	
16	弘益	Hongik University	大学校 私立		11,966	11,380	1947	71総合
17	建国	KONKUK UNIVERSITY	大学校 私立		16,669	17,420	1949	59総合
18	国民	Kookmin University	大学校 私立		15,180	6,327	1946	81総合
19	高麗	Korea University	大学校 私立		20,226	22,528	1946	
20	韓国クリスチャン	KOREA CHRISTIAN UNIVERSITY	大学校 私立	Cp	1,556	4,862	1947 (1855創設)	
21	韓国聖書	Korean Bible University	大学校 私立	Cp	1,123	-	1997 (55 4 年認可)	
22	光云	Kwangwoon University	大学校 私立		8,949	5,256	1963	76現名
	京畿 第二campus	KYONGGI UNIVERSITY 2nd campus	大学校 私立		2,479			
23	慶熙	KyungHeeUniversity	大学校 私立		25,375	24,000	1949	55総合
24	メソジスト神学	Methodist Theological University	大学校 私立	Cp	910	800	1965	93現名
	明和 第二campus	Myongji University Social Science 2nd campus	大学校 私立	C	7,280			
25	プレスビテリアン	Presbyterian College & Theological Seminary	大学校 私立	Cp	674	595	1961	
26	三育	Sahmyook University	大学校 私立	Cp	5,546	2,143	1961	92現名
27	祥明	SANGMYUNG UNIVERSITY	大学校 私立		6,574	7,902	1983 (祥明女子)	86総合、96現名
28	世宗	Sejong University	大学校 私立		11,195	3,981	1978 (54首都女子師範)	87総合
29	西京	SEOKYEONG UNIVERSITY	大学校 私立		6,608	4,320	1947	92総合
30	ソウル基督 (クリスチャン)	Seoul Christian University	大学校 私立	Cp	760	-	1998 (大韓基督)	99 or 00現名
31	ソウル女子 ○	Seoul Women's University	大学校 私立		8,180	4,630	1960	88総合

32	西江	Sogang University	大学校	私立	Ca	8,440	9,464	1960	70総合
33	淑明女子 ○	Soekmyung Women's University	大学校	私立		11,065	8,124	1948	55総合
34	崇実	Soongsil University	大学校	私立	Cp	14,383	7,876	1971 (統・総)	87現名
35	聖公会	Sungkonghoe University	大学校	私立	Cp	2,368	773	1991	
36	成均館	Sungkyunkwan University _humanities social science	大学校	私立		19,290	22,414	1946 (1398創立・李朝最高学府)	53総合
37	誠信女子 ○	Sungshin women's university	大学校	私立	Cp	10,400	6,600	1965-4年制	81総合
38	延世	Yonsei University	大学校	私立	Cp	19,066	27,041	196 (セブランス医科/延喜) 57合併→延世	
39	仁川市立	University of Incheon	大学校	公立		14,103	8,335	1994市立 (79工科2年)	
40	仁川カソリック	Incheon Catholic University	大学校	私立	Ca	116	35	1966	
仁川	仁川カソリック 第二campus	Incheon Catholic University 2nd campus	大学校	私立	Ca	635			
41	仁荷	INHA UNIVERSITY	大学校	私立		18,835	15,263	1971 (54工科)	
42	仁川国際	Juan International University	大学校	私立	Cp		-	2011	
川	安養 第二campus	Anyang University 2nd campus	大学校	私立		501			
43	韓京	Hankyong National University	大学校	国立		???	2,940	93 (農業大→産業大学校) 99現名 (国立学校設置令)	
②	京仁教育	GYEONGIN NATIONAL UNIVERSITY OF EDUCATION	産業大	国立		1,447	2,440	1982 (仁川教育)	93仁川教育大学校、03現名
京仁教育	第二campus	GYEONGIN NATIONAL UNIVERSITY OF EDUCATION 2nd campus	教育大	国立		1,501			京畿道安養市
44	亞洲	Ajou University	大学校	私立		10,148	7,578	1974	
45	安養	Anyang University	大学校	私立		4,753	2,548	1991	81総合、現名
46	亜細亜連合神学	Asian Center for Theological Studies and Mission	大学校	私立	Cp	721	323	1981	93改称
47	カルバン	Calvin University	大学校	私立	Cp	451	-	1997	
48	CHA	CHA University	大学校	私立	Cp	891	-	1997	09現名?
中央	第二campus	CHUNG-ANG UNIVERSITY _campus	大学校	私立		???			
49	大真	DAEJIN UNIVERSITY	大学校	私立		8,218	3,790	1991	
50	檀国	DANKOOK UNIVERSITY	大学校	私立		11,886	17,280	1947	67総合、07ソウル→京畿道 龍仁市へ移転
乙支	第二campus	Eulji University 2nd campus	大学校	私立		4,583			
51	韓北	Hanbuk University	大学校	私立		1,371	-	2004	
韓国外国語	第二campus	HANKUK UNIVERSITY OF FOREIGN STUDIES _campus	大学校	私立		8,278			
52	韓世	HANSEI UNIVERSITY	大学校	私立	Cp	2,793	868	1990 (純神)	98現名
53	韓神	HANSHIN UNIVERSITY	大学校	私立	Cp	5,494	3,062	1945	92現名
漢陽	Erica campus	Hanyang University. ERICA _campus	大学校	私立		9,366			
54	協成	HYUPSUNGUNIVERSITY	大学校	私立	Cp	4,722	1,450	1992	
55	中央僧伽	Joong-Ang Sangha University	大学校	私立	B	259	480	1996	01 ソウル→Gimpoへ移転
56	江南	KANGNAM University	大学校	私立	C	7,395	4,485	1990	92総合
57	韓国航空	KOREA AEROSPACE UNIVERSITY	大学校	私立		4,434	2,501	1953 (国立航空)	79民間
1)	韓国ポリテクニク	KOREA POLYTECHNIC UNIVERSITY	産業大	私立		???	-	1998	

地域 No.	大学校名 (漢字・カナ)	大学校名 (英語)	大学 種別	設置 者	宗教	学生数 (2011年)	学生数 (1996年)	創立年 (4年制大学)	改組等
58	京畿	KYONGGI UNIVERSITY	大学校	私立		11,983	9,687	1963 (55京畿女子初級)	84総合
59	慶熙	Kyung Hee University _campus	大学校	私立					
60	ルター	LUTHER UNIVERSITY	大学校	私立	Cp	494	—	2003 (97ルター神学大 2年)	
61	明和	Myongji University natural science campus	大学校	私立	C	7,224	7,992	1963 (55ソウル女子初級)	83総合
62	平澤	PYEONG-TAEK UNIVERSITY	大学校	私立		4,079	1,828	1992	96改称
63	ソウル神学	Seoul Theological University	大学校	私立	Cp	2,324	?	1959	92総合
64	ソウル長神	SEOULJANGSIN UNIVERSITY	大学校	私立	Cp	536	—	1998	
65	新京	Shin gyeong University	大学校	私立		1,111	—	2004?	
66	聖潔	SUNGKYUL UNIVERSITY	大学校	私立	Cp	5,542	3,790	1966	
67	水原カソリック	SUWON CATHOLIC UNIVERSITY	大学校	私立	Ca	188	400	1984	
68	韓国カソリック	The Catholic University of Korea	大学校	私立	Ca	7,593		1959	92総合 (64春川に創設された聖心女子大学を94に合併)
69	水原	UNIVERSITY OF SUWON	大学校	私立		11,316	7,029	1981	88総合
70	龍仁	Yong In University	大学校	私立		6,236	5,000	1990	
71	嘉泉	Gachon University of Medicine and Science KYUNGWONUNIVERSITY	大学校	私立		17,666?	—	1998 (医療大学)	99大学校、06現名、12統合
72	江陵原州	Gangneung-Wonju National University	大学校	国立		6,150	6,531	1979 (江陵)	91総合、07原州統合、09現名
73	江陵原州 第二 campus	Gangneung-Wonju National University 2nd	大学校	国立		2,115	不明	(原州専門大)	↑ 07江陵と統合
74	江原 第二 campus	Kangwon National University	大学校	国立		14,895	17,200	1947 (農大)	70国立、78総合
75	春川教育	Kangwon National University 2nd	大学校	国立		6,444	5,047	1991 (三陟産業)	93大学校 (産業大)、06合併↑
76	漢拏	ChuncheonNationalUniversityofEducation	大学校	国立		1,620	1,580	1983	93現名
77	翰林	Halla University	大学校	私立		3,746	—	1997 (漢拏工科)	98総合
78	華中科学	Hallym University	大学校	私立		8,811	4,723	1982	88総合
79	閔東	HANZHONG UNIVERSITY	大学校	私立		1,943	—	2000	華中理工大、同済科大学など統合
80	京東	Kwandong University	大学校	私立		9,490	9,982	1959	
81	尚志	Kyungdong University	大学校	私立		2,950	—	1997	
82	延世 原州 campus	SANGJI UNIVERSITY	大学校	私立		8,151	5,773	1963 (原州大) → 72廃校	74尚志として引継、89総合
83	忠北	YONSEI UNIVERSITY WONJU CAMPUS _campus	大学校	私立		8,014			
84	忠北	Chungbuk National University	大学校	国立		14,277	17,324	1953 (47農業大)	63国立、77総合
85	韓国交通	Korea National University of Transportation	大学校	国立		8,797	9,048	1993 (忠州産業)	99忠州大学校となり、06青州科学大学と統合。12韓国鉄道大学統合し韓国交通大学校
86	青州教育	Cheongju National College of Science						1999 (青州科学大学・専門大学より)、↑ 06統合	
87	清州	Korea National Railroad College						1999 (鉄道専門大学→韓国鉄道大学)	↑ 12合併
88	極東	Chongju National University of Education	大学校	国立		1,483	1,398	1984	93総合
89		Cheongju University	大学校	私立		13,043	11,277	1946 (商科大学)	51現名
90		FAR EAST UNIVERSITY	大学校	私立		4,347	—	1998	

北	83	中源	JUNGWON UNIVERSITY	大学校	私立	1,545	- 2009?	大真と関係?
道	84	賢都	Kkottongnae University	大学校	私立	506	- 1999 (賢都社会福祉)	11現名
		建国 第二 campus	KONKUKUNIVERSITY _campus	大学校	私立	8,111		
	85	世明	SEMYUNG UNIVERSITY	大学校	私立	8,164	3,864 1990	92総合
	86	西原	SEOWONUNIVERSITY	大学校	私立	6,651	4,714 1970 (清州女子)	88現名、92総合
	87	永同	YOUNGDONG UNIVERSITY	大学校	私立	3,217	1,100 1994	95総合
	⑤	公州教育	GONGJU NATIONAL UNIVERSITY OF EDUCATION	教育大	国立	1,802	1,892 1982	93総合
	88	公州	Kongju National University	大学校	国立	14,191	6,760 1954 (48道立師範、50国立)	91総合以後、複数合併
忠	89	白石	BAEKSEOK UNIVERSITY	大学校	私立	13,623	1,170 1995 (基督神学大)	97天安、06白石
	2)	青雲	CHUNGWOON UNIVERSITY	産業大	私立	5,910	2,030 1995	
	90	大田カソリック	DAEJEONCATHOLICUNIVERSITY	大学校	私立	119	87 1992	
清		檀国 第二 campus	DANKOOK UNIVERSITY _campus	大学校	私立	12,178	17,280 1947	
	91	金剛	GEUMGANG UNIVERSITY	大学校	私立	396	- 2004	
	92	韓瑞	Hanseo University	大学校	私立	7,822	3,636 1992	
		弘益 第二 campus	Hongik University _campus	大学校	私立	6,563		
南	93	湖西	HOSEO University	大学校	私立	12,711	? 1980	89総合
	94	中部	JOONGBU UNIVERSITY	大学校	私立	8,840	3,630 1992	95改称
	95	建陽	KONYANG UNIVERSITY	大学校	私立	5,977	4,200 1990	92総合
道	96	韓国ナザレ	Korea Nazarene University	大学校	私立	5,725	900 1992	
	97	韓国技術教育	Korea University of Technology and Education	大学校	私立	4,211	960 1991	92改称
		高麗 世相 campus	Korea University Sejong Campus _campus	大学校	私立	7,033		80に世相キャンパス
	3)	南ソウル	Nomeoul University	産業大	私立	C ?(1000)	3,565 1993	98現名
		祥明 天安 campus	SANGMYUNG UNIVERSITY _campus	大学校	私立	6,341	1986 (祥明女子大)	96総合、現名
	西南 第二 campus	SEONAM UNIVERSITY 2nd campus	大学校	私立	3,848			
	98	順天郷	Soonchunhyang University	大学校	私立	Cp 11,354	6,339 1978 (医科大)	80現名、90総合
	99	聖民?	Sungmin (Holy People) University	大学校	私立	C	2003?	
		聖市	Sungyoehung (Holy City) University	大学校	私立	C 114	上と同一大学と思われる	2012 閉学命令
	100	鮮文	SUNMOON UNIVERSITY	大学校	私立	C 9,668	3,150 1992?	94総合?
	101	忠南	Chungnam National University	大学校	国立	18,065	15,168 1952	62統合し忠清、63分離
	4)	ハンバツ	Hanbat University	産業大	国立	???	8,488 1984 (大田開放大学)	93総合、01現名
	102	大田神学	DAEJEON THEOLOGICAL UNIVERSITY	大学校	私立	Cp 167	- 2008	
大	103	大田	DAEJEON UNIVERSITY	大学校	私立	9,976	5,813 1980	88総合
	104	乙支	Eulji University	大学校	私立	844	- 2007 (67ソウル保健/96創設の乙支医科と合併)	
	105	韓南	HanNam University	大学校	私立	12,487	10,000 1959	82現名、85総合
田	106	韓国浸礼神学	Korea Baptist Theological University/Seminary	大学校	私立	Cp 1,570	1,169 1973	93現名
		建陽 第二 campus	KONYANG UNIVERSITY 2nd campus	大学校	私立	2,060		

地域 No.	大学校名 (漢字・カナ)	大学校名 (英語)	大学 種別	設置 宗教	学生数 (2011年)	学生数 (1996年)	創立年 (4年制大学)	改組等
107	牧園	MOKWON UNIVERSITY	大学校 私立	Cp	9,785	8,408	1965 (神学大)	72現名、93総合
108	培材	PAICHAJ UNIVERSITY	大学校 私立	Cp	9,139	2,018	1980	92総合
109	又松	Woosong University	大学校 私立		8,338	-	1995	
110	韓国科学技術院	KAIST (Korea Advanced Institute of Science and Technology)	大学校 特別法		3,990	2,174	1971創設、(81入学生)	89韓国科学技術大学統合
111	慶北	KYUNGPOOK NATIONAL UNIVERSITY	大学校 国立		20,266	24,202	194 (医・師・農3大学創)	51統合・総合し現名、 08尚州と統合
大	⑥ 大邱教育	Daegu National University of Education	教育大 国立		1,943	2,225	1963	93総合
	112 大邱慶北科学技術院	DGIST (Daegu Gyeongbuk Institute of Science and Technology)	大学校 特別法		-	-	法2008、11院入学?	学部準備中
	113 啓明	Keimyung University	大学校 私立	Cp	23,588	16,012	1955 (啓明キリスト教)	65現名、98総合
	114 慶北外国	KYONGBUK UNIVERSITY OF FOREIGN STUDIES	大学校 私立		365	-	2004	
115	安東	Andong National University	大学校 国立		6,404	6,887	1979	91総合
116	金鳥工科	Kumoh National Institute of Technology	大学校 国立		6,741	6,132	1990	93総合
慶	慶北 第二 campus	Kyungpook National University 2nd campus	大学校 国立		4,047			
	117 大邱カトリック	CATHOLIC UNIVERSITY OF DAEGU	大学校 私立	Ca	13,535	1953 (曉星女子大)	80総合、9曉星女子と大邱カトリックが合併し大邱曉星カトリック、00現名	
	118 大邱芸術	DAEGU ARTS UNIVERSITY	大学校 私立		1,324	-	1993	96 総合
	119 大邱韓医	Daegu Haany University	大学校 私立		6,629	-	2003 (81大邱東洋医科大学)	
	120 大邱	Daegu University	大学校 私立		19,363	19,218	1961 (韓国社会事業)	81総合
	121 大邱外国語	Daegu University of Foreign Studies	大学校 私立		378	-	2003	
	122 大眞	Daeshin University or Daejin Univ	大学校 私立		456		1992?	(中国関連の大学?)
	東国 第二 campus	DONGGUK UNIVERSITY _campus	大学校 私立		8,587			
	123 東洋	DONGYANG UNIVERSITY	大学校 私立		4,386	1,670	1994 (工科)	95改称
	124 金泉	GIMCHEON UNIVERSITY	大学校 私立	C	2,336	-	1998 (78専門大学)	09総合?
北	125 慶州	Gyeongju University	大学校 私立		3,691	1,582	1987 (韓国観光大)	93現名
	126 韓東	Handong Global University	大学校 私立		3,789	360	1994	
	127 伽耶	KAYA UNIVERSITY	大学校 私立		32	850	1993 (蔡業大)	95現名
	128 建東	Kundong University	大学校 私立		394	-	2006 (93安東産業技術大)	
	129 慶一	KYUNGIL UNIVERSITY	大学校 私立		5,999	10,940	1984	92総合
	130 慶雲	Kyungwoon University	大学校 私立		???	-	1997	
	131 浦項工科	Pohang University of Science and Technology	大学校 私立		14,141	1,240	1986	
	132 威徳	Uiduk University	大学校 私立		2,962	400	1993	
	133 嶺南	Yeungnam University	大学校 私立		23,949	1,576	1947 (大邱大)	67青邱と合併→嶺南

134 嶺南神学		YongnamTheological University & Seminary 大学校 私立 Cp					543	560 1995 ? (旧大邱神学)
慶尚南道	135 昌原	Changwon National University	大学校 国立	8,791	5,540 1979 (馬山大)	85現名、91総合		
	⑦ 晋州教育	Chinju National University of Education	教育大 国立	1,635	1,940 1983	93総合		
	136 慶尚	GYEONGSANG NATIONAL UNIVERSITY	大学校 国立	14,790	17,921 1988 (48道立農科創設)	72現名、80総合		
	137 慶南科学技術	Gyeongnam National University of Science & Technology	大学校 国立	5,359	4,910 1993 (晋州産業大学校)	11現名		
	138 釜山プレシテリアン (長神)	BusanPresbyterianUniversity	大学校 私立 Cp	275	- 1996			
	139 仁済	Inje University	大学校 私立	9,525	5,689 1979 (仁済医科)	84現名、89総合		
	140 韓国国際	INTERNATIONAL UNIVERSITY OF KOREA	大学校 私立 Cp	4,139	- 2003 (JuaN 国際大)	08 現名		
	道 伽耶 第二 campus KAYA UNIVERSITY 2nd campus		大学校 私立	2,584				
141 慶南	Kyungnam University	大学校 私立	13,297	12,051 1952 (海印大)	71現名、81総合			
142 靈山	Yongsan University	大学校 私立	3,036	- 1997				
蔚山	143 蔚山科学技術院	Ulsan National Institute of Science and Technology	大学校 国立	2,227	- 2007			
	144 蔚山	UNIVERSITY OF ULSAN	大学校 私立	13,940	9,729 1985 (70蔚山工科) (現代グループ)			
釜山	145 韓国海洋	Korea Maritime University	大学校 国立	6,708	5,689 1947	91総合		
	146 釜慶	PUKYONGNATIONALUNIVERSITY	大学校 国立	17,463	22,000 1946 (水産大)	90総合、96現名		
	147 釜山	Pusan National University	大学校 国立	21,758	22,927 1946	53総合		
	⑧ 釜山教育	Miryang national University	教育大 国立	1,829	4,592 1976 (密陽産業)	93総合、05合併統合 ↑		
	148 釜山カソリック	Busan National University of Education	教育大 国立	1,829	1,586 1963	81 4 年制、93現名		
	149 東亜	CATHOLIC UNIVERSITY OF PUSAN	大学校 私立 Ca	4,105	226 1991			
	150 東義	Dong-A University	大学校 私立	21,142	24,408 1946	59総合		
	151 東西	Dong-eui University	大学校 私立	17,300	12,043 1978	83総合		
	152 高神	DONGSEO UNIVERSITY	大学校 私立	11,215	4,795 1993	96総合		
	153 京城	KOSIN UNIVERSITY	大学校 私立 Cp	4,133	2,904 1970			
	154 釜山外国	Kyung Sung University	大学校 私立	13,352	9,451 1979	83総合		
	155 新羅	Pusan University of Foreign Studies	大学校 私立	9,028	8,604 1982	91総合		
	156 東明	SILLA UNIVERSITY	大学校 私立	9,893	6,278 1969 (釜山女子大学)	92総合、98共学、現名		
	靈山 第二 campus Youngsan University 2nd campus	Tong Myong University	大学校 私立	8,893	- 1979	96東明情報大学校、06合併現名		
	仁済 第二 campus Inje University 2nd campus	Youngsan University 2nd campus	大学校 私立	3,440				
	891							
全羅北道	157 全北	Chonbuk National University	大学校 国立	19,143	21,220 1947 (道立農業)	51改称		
	158 群山	KUNSAN NATIONAL UNIVERSITY	大学校 国立	7,612	9,365 1979 (78群山女子初級大学)	91総合		
	⑨ 全州教育	JEONJU NATIONAL UNIVERSITY OF EDUCATION	教育大 国立	1,462	1,226 1983	93総合		
	159 韓一長神	Hamil Univ. & Presbyterian theological sem.	大学校 私立 Cp	1,098	860 1994 (女子神学校)	95現名		
	5) 湖原	Howon University	産業大 私立	4,848	11,306 1984 (群山開放)	92全北産業大学校、98現名		
	160 全州	Jeonju University	大学校 私立 C	11,582	10,000 1953	78現名、83総合		
	161 イエス	Jesus University	大学校 私立 Cp	597	- 2003			
	162 西南	SEONAM UNIVERSITY	大学校 私立 C???	3,559	? 1988	92総合		

地域 No.	大学校名 (漢字・カナ)	大学校名 (英語)	大学 種別	設置 者	宗教	学生数 (2011年)	学生数 (1996年)	創立年 (4年制大学)	改組等
163	圓光	Wonkwang University	大学校	私立	B	16,939	21,484	1953	71総合
164	又石	WOOSUK UNIVERSITY	大学校	私立		7,990	8,363	1979 (全州又石女子)	80全州又石、95現名
165	芮苑藝術	Yewon Arts University	大学校	私立		1,019	-	2000	03 現名
166	木浦海洋	Mokpo National Maritime University	大学校	国立		2,488	1,622	1993 (79大学)	
167	木浦	Mokpo National University	大学校	国立		7,964	7,351	1979 (63教育大)	90総合
168	順天	SUNCHON NATIONAL UNIVERSITY	大学校	国立		7,614	7,752	1982 (79農専門大)	
全羅南道	全南 第二 campus	Chonnam National University 2nd	大学校	国立		3,297		旧、麗水大学校 (2006年に統合される)	
	169 草堂	Chodang university	大学校	私立		???	?	1994	98 現名
	170 大佛	Daebul University → Sehan University (2012)	大学校	私立		4,096	1,120	1994 (大佛工科)	96総合、現名
	171 東新	DONGSHIN UNIVERSITY	大学校	私立		6,700	4,284	1987	92総合
	172 光州カソリック	Kwangju Catholic University	大学校	私立	Ca	85	177	1965	85現名
	173 漢麗	Hallyo University or Hanlyo (College Info.)	大学校	私立		1,860	1,285	1995	
	174 木浦カソリック	Mokpo Catholic University	大学校	私立	Ca	559	-	1999? (67看護学校)	
	175 明信	MYUNGSHIN UNIVERSITY	大学校	私立			-	2000? Or 98	2011.9開鎖通知
	176 靈山禪学	Youngsan University (of Son Studies)	大学校	私立	B	39	1997	(86大学)	
	177 全南	Chonnam National University	大学校	国立		17,578	22,568	1952	
光州	178 光州科学技術院	GIST Gwangju Institute of Science and Technology	大学校	特別法		272	-	1993	10より学部生入学
	⑩ 光州教育	GNUE Gwangju National Univ. of Education	教育大 国立			1,651	2,440	1982	93現名、総合
	179 朝鮮	Chosun University	大学校	私立		20,476	23,756	1946 (夜間)	53総合
	180 光州	GWANGJU UNIVERSITY	大学校	私立		6,731	12,150	1984 (光州開放)	89総合
	181 湖南神学	Honam Theological University & Seminary	大学校	私立	Cp	605	690	1989	
	182 湖南	Honam University	大学校	私立		7,472	6,180	1978	81現名、92総合
	183 光州女子	Kwangju Women's University	大学校	私立		4,153	?	1992	97総合
	184 光神	KWANGSHIN UNIVERSITY	大学校	私立	Cp	531	-	1997	
	185 南部	NAMBU UNIVERSITY	大学校	私立		3,158	-	1998	
	186 松源	Songwon University	大学校	私立		830	-	2011	
済州	187 済州	Jeju National University	大学校	国立		9,966	10,984	1955	62国立、82総合し、現名
	188 耽羅	TAMNA UNIVERSITY	大学校	私立		?	2013	-	1997

出典：1) “College Info” Higher Education in Korea (<http://heik.academyinfo.go.kr/main.tw>) 2012.12～2013.01アクセス

2) 遠藤蒼・鄭仁豪 (編著) 1997、『韓国大学全覧』厚有出版。 3) 必要に応じて各大学 HP。

注：1) 2011年の学生数は“College Info”より。1995年の学生数は『韓国大学全覧』より。但し、『韓国大学全覧』の調査期間は1995.10～1997.2であり、1996年の学生数もあると思われる。

2) 創設年や改変は『韓国大学全覧』及び各大学 HP より。ここでのいう創設年とは4年制大学になった年。しかし「4年制大学学力認定校」などの

カテゴリーもあり、曖昧であることを断っておく。

- 3) 宗教については不明確な点もあるが、確認できた識別した。記号の意味するところは以下の通り。Ca：カソリック、Cp：プロテスタント、C：判別できなかったがクリスチャン、B：仏教
4) 表中で色を付けているものは次のことを示す。

二重線で ○印：女子大学、■：旧女子大学、■：第二キャンパス

太線枠 □：近年の統合、■：第二キャンパス

- 5) No.99聖民と聖市に関して、“College Info”では「Holy City（聖市）」となっており、webサイトをクリックすると、表示アドレスから「聖民」のサイトにつながる。だが、内容は表示されない。

※不明確なもの、あるいは間違いないと思われる。その修正が課題であるとともに、間違いなどがあればご教示願いたい。

その他、次のような大学があるので参考までに掲載しておく。出典は上記“College Info” Higher Education in Korea。

地域	大学校名（漢字・カナ）	大学校名（英語）	大学種別	設置者	学生数（2011）
ソウル	国立芸術	Korea National University of Arts	各種大学	特別法	2,314
忠北	韓国クリスチャン	Korea Christian College	各種大学	私立	207
忠南	国立文化遺産	The Korean National University of Cultural Heritage	各種大学	特別法	577
忠南	韓民	Hanmin University	各種大学	私立	412
(以下、サイバー大学、通信大学)					
	国立韓国放送通信	Korea National Open University	通信	国立	???
	建陽サイバー	Konyang Cyber University	サイバー	私立	???
	慶熙サイバー	Kyung Hee Cyber University	サイバー	私立	9,224
	サイバー韓国	THE CYBER UNIVERSITY OF KOREA	サイバー	私立	8,529
	国際サイバー	Gukje Cyber University	サイバー	私立	2,053
	グローバルサイバー	GLOBAL CYBER UNIVERSITY	サイバー	私立	1,507
	大邱サイバー	Daegu Cyber University	サイバー	私立	4,124
	デジタルソウル文化芸術	DIGITAL SEOUL CULTURE ARTS UNIVERSITY	サイバー	私立	3,682
	釜山デジタル	BusanDigital University	サイバー	私立	2,253
	サイバー韓国外国語	Cyber HanKuk University of Foreign Studies	サイバー	私立	5,090
	ソウルデジタル	Seoul Digital University	サイバー	私立	10,874
	ソウルサイバー	Seoul Cyber University	サイバー	私立	10,539
	世宗サイバー	Sejong Cyber University	サイバー	私立	5,944
	韓国サイバー	Korea Cyber University	サイバー	私立	4,366
	オーブンサイバー	Open Cyber University	サイバー	私立	2,193
	圓光デジタル	Wonkwang Digital University	サイバー	私立	3,863
	漢陽サイバー	HANYANG CYBER UNIVERSITY	サイバー	私立	12,878
	和信（？）サイバー	Hwashin Cyber University	サイバー	私立	828

5. まとめと課題

以上、WWⅡ後における韓国（大韓民国）の高等教育政策と高等教育機関の現状を概観した。筆者がハングルに精通していないことから、日本語と英語の文献、英語 HP を拠り所として情報を収集し、まとめたものである。分析はまだ途上で、結果として自分の中で韓国の高等教育の流れと現状を整理したものとなった。また概観とはいうものの、大学入試制度やカリキュラム、大学評価、留学政策、大学院政策など触れられなかった点も多々ある。ここでは最後に、高等教育政策の流れを簡単にまとめた後、本稿を執筆する中で気づいた今後の研究課題を述べる。

1) まず、全般的にかなり強力な政治主導により高等教育政策が実行され、高等教育機関や教員、学生は直接的に大きな影響を受けてきたことである。例えば朴正熙政権下における「大学学生定員令」による定員管理の強化、理系学部定員の拡充、地方大学への定員増加、あるいはソウル大学を基幹大学と位置付けての集中投資といった政策が推し進められた。戦前における日本の高等教育政策に似た、国家主導のマンパワー政策が展開されたのである。また、大学の自律化を進めるためとして、政府が「実験大学」を指定して実行させるといった一見矛盾を孕んだような政策も取られた。戦前の影響で高等教育機関が未発達な中、政府主導による高等教育の推進が大きな特徴であり、そうした政府主導は今日でも見られる傾向だと言える。

2) 朴政権などの強権的な政策実行のあり方から、民衆の要望に応えようとする高等教育政策の実行への変化を挙げることができる。「漢江の奇跡」と称される経済成長、中等教育卒業者の増加による大学進学圧力の高まりに加え、大統領直接選挙制への対応、民主化の進行などもあり、国家のマンパワー政策よりも、人々の要求に応える政策が優先されるようになった。90年代半ばには大学設置や大学定員の規制を大幅に緩和し、それが大幅な大学進学率の上昇につながった。

3) 1997年の経済危機を経験する中で、BK21、WCU など技術立国としての世界水準の人材育成を図る「国家発展のための事業」に高等教育政策は組み込まれるようになる。特定分野に限定するなどして、競争的資金を通じて大学・大学院へ多額の研究投資を日本に先駆けて行うようになってきた。

今後の研究課題は多くあるが、まずは次のような点を挙げておく。

i) 高等教育の諸政策は、政権交代ごとに新たな方策が打ち出され、実行されてきた観がある。こうした政策決定のあり方は、一貫性のない人気取りに振り回されているという批判と同時に、高等教育機関任せではなかなか進まない改革を迅速に実行できたとのプラス面も指摘される。情報インフラ整備、平生教育としての産業大学やサイバー大学の展開、大学情報公開、大学の自己評価と相互評価、留学政策、競争資金の導入、地域間格差

是正のNURIなど矢継ぎ早に実行された。失敗例もあるが、そこから見えてきた課題を含めて、その高等教育政策から学ぶべきことは多い。

ii) もう一つ注目すべき課題を挙げるなら、少子化との関連での高等教育政策である。日本の合計特殊出生率が4.0を割るのは1950年（厚生労働省 HP）、これに対し韓国は1973年まで4.0を上回っていた。その韓国の特殊出生率が2.0を割り、1.74となって日本と同水準になるのは1984年である（KOSIS HP）。日本が30年かかったと、韓国はわずか10年で急速に少子化した。このような他に類を見ない少子化は、高度経済成長とそれに伴う富裕化、高い教育的期待や学歴主義、さらには強い中央志向、あるいは若者の雇用不安などといった諸要因が関連しているとみられ、その分析には社会的・歴史的背景への目配りが不可欠であるが、何よりこれらは日本が直面する課題と共通するという意味でも重要である。高等教育政策では、この関連で進められている定員削減や大学合併促進、大学の閉鎖などが日本に先立って行われており、これらの政策は大いに参考とすべきものである。実際、そうした意識をもった研究・調査もあるようだ。

iii) 最後に、本研究の出発点である女子大学比較研究の観点から言えば、それぞれの大学の歴史的背景や女子大学としての戦略をはじめ、追求すべき課題は多い。また諸大学の改変を概観した時、女子大学から共学化した大学が少なからずあることが分かった。どのような大学が、どういった経緯で共学したのか、またなぜ女子大学としての生き残りが難しかったのかといった点について、国家の高等教育政策との関連なども含めて考察していきたい。

注

- 1) 韓国の高等教育の第一人者である馬越の他、有田（2006）、井手（2002、2007）、水谷他による報告書（2010）、石川（2012）、両角（2012）による著書、論文や報告書の他、東京大学大学院の大学経営・政策コースの大学院生による報告書もネットで公表されている。さらには、自治体国際化協会の『CLAIR REPORT』No.339、（田中涼子執筆）の特集（2009）、『カレッジマネジメント』による韓国特集（2005）などを挙げるができる。
- 2) 本稿では、大学入試については扱っていないが、韓国が学歴社会（大学歴社会）であって、その大学入試の熾烈さは日本でもよく知られているところである。入試競争緩和策として、「高等学校平準化制度」の適用・非適用の区別、私教育（塾など）の禁止、高等学校の多様化、大学入試制度の改革などの政策が目まぐるしく実施されてきた。こうした政策の流れについては、田中涼子（2009）「韓国の近代教育政策」（『CLAIR REPORT』No.339）に詳しい。但し、無断転載が禁じられているので、内容には触れない。

- 3) 韓国の学校歴主義を表すものとして、次のような数字がある。少し古くなるが、2005年にモスクワで開催された、世界銀行の“Higher Education Seminar”で Kim, G. J. (教育人的資源部…今日の教育科学技術部 MEST) が発表した資料によると、名門大学である SKY (Seoul National – ソウル、Korea – 高麗、Yonsei – 延世、それぞれの大学の頭文字) 出身者が1980～2002年の全大臣に占める割合は68.4% (288/421)、2002年における CEO の39.8% (1703/4281)、同年における国会議員の57.1% (156/273) を占める。
- 4) 馬越 (2010) の付録資料「高等教育法」(2009年改正) によると、高等教育は次の7種類に分類されている。すなわち、①大学、②産業大学、③教育大学、④専門大学、⑤放送・通信大学 (サイバー大学、遠隔大学含む)、⑥技術大学、⑦各種学校、である。石川 (2011) によると、2011年の改正により⑧社内大学、⑨専攻大学の二つが付け加えられ、9種類となっている。この表2にある専攻大学 (Specializing College) については言及されていない。
- 5) こうした国家からの大きなプレッシャーや国民の大きな期待が、2005年末に発覚したソウル大学・黄禹錫教授による ES 細胞に関する論文捏造事件の温床としてあるとの指摘もなされている。韓国政府はノーベル賞に手が届きそうな科学者として、破格の研究費や施設を提供される「最高科学者」の第一号として黄教授を選定した (中央日報日本語版 2005年03月02日 web 版)。また期待の余り、疑惑があったにもかかわらず政府青瓦台は十分な調査を行わなかったなどとして政府責任論も出ている (中央日報日本語版 2005年12月19日 web 版)。毎日新聞は、韓国で自然科学系でのノーベル賞を望むあまり、規制を緩和し、潤沢な資金をつぎ込むなどして、国を挙げて全面的な支援をし、国内世論も盛り上がっていた。そうしたかなりのプレッシャーも、こうした不正を働く要因としてあるのではないかと、有識者へのインタビューを交えながら指摘している (毎日新聞 2005年12月24日朝刊)。
- 6) 学生はもとより、授業料を支払う親も含めた教育需要者に対する大学の説明責任を果たすための制度として、2008年に「大学情報公示制」が導入され、就職率や定員充足率などを含む13項目55項目からなる大学情報の公開を義務化した (石川 2011)。それを掲載している政府運営サイトが今回利用した“College Info” (<http://heik.academyinfo.go.kr/main.tw>) である。日本で今まさに行なわれようとしている大学情報公開である (2011年4月法制化)。
- 7) 馬越の数字は、年度を特定できないが、2004年前後～8年頃の数字だと推測される。この他、井手 (2010) はいくつかの道と広域都市の定員充足率 (2009年度) と首都圏・非首都圏×国立・私立の4類型で、2002～2009年の定員充足率推移を示している。
- 8) これらの項目ならびに評価基準とその実施手順については、両角 (2012) に詳しい説明

がある。

9) 大学評価の一環として、政府は2011年に「大学構造改革委員会」を発足させ、4年制大学に対しては定員充足率、就職率など8項目について評価をさせ、その結果を公表させた。4年制では23校が「不実大学」として指名、公表され、翌年度からの大学への財政支援や新入生への学資金貸し出しを制限するなどのペナルティが課されることとなったようだ(石川 2011、140頁)。

10) MEST (韓国教育科学技術部) のHP に、“MEST announced the closure of Holy City University” としてプレス発表がなされている。(2012年8月23日)
(<http://english.mest.go.kr/web/42208/en/board/enview.do?bbsId=265¤tPage=1&boardSeq=32480&mode=view>)

11) 大学経営者の不正経理やガバナンスについては、かつてより少なからぬ問題点が指摘されてきた(馬越 2010、145頁)。近年において報道された事例を挙げてみる。

中央日報(日本語版 2011年09月07日)は、「韓国の教育科学技術部、校費横領などで財政難の2大学に閉鎖を通知」との記事で、本文で挙げた大学の事例を報道した。「日本の文部科学省に相当する韓国の教育科学技術部が6日、全羅南道順天にある4年制私立大学の明信大学と全羅南道康津の私立専門大学の成和大学に事実上の閉鎖通知を行った。明信大学が27日までに校費横領額68億ウォンの埋め合わせをせず、成和大学が設立者の横領額など72億ウォンを来月1日までに返却しなければ閉鎖手続きを踏むという。…」としている。これらの大学名については、両角(2012、48頁)に記載されている。

朝鮮日報(日本語版 2012年12月27日)は、「私立大学設立者が80億円横領、3度目の起訴」と題した記事を掲載した。「高校教師として働き30代で私立学校を設立した男が、経営する複数の大学の校費横領を繰り返した罪で3度目の裁判を受けることになった。光州地検順天支庁刑事第3部は26日、2007年から今年にかけ漢麗大学(全羅南道光陽市)と光陽保健大(同)、西南大(全羅北道南原市)、新京大(京畿道華城市)の4大学の校費898億ウォン(約71億6000万円)と、自らが経営する建設会社の資金など計1004億ウォン(約80億円)を横領した罪で、漢麗大設立者のイ・ホンハ被告(74)を起訴したと発表した。…イ被告は高校の生物教師として勤務する傍ら銭湯を経営し、稼いだカネで1977年に学校法人のホンボク学院を設立した。その後、35年間で学校法人7法人と大学5校、高校3校を次々と設立し、光州市の南光病院、緑十字病院も買収した。…」との内容である。上記の大学(専門大学を含む)がすべて閉鎖したかどうかは確認できていないが、経営者の個人的責任から閉鎖へと追い込まれる大学もあるようだ。

引用・参考文献

- 有田伸 2006、『韓国教育と社会階層：「学歴社会」への実証的アプローチ』東京大学出版会
- カレッジマネジメント 2005、『カレッジマネジメント』131（特集：大学全入時代に到達した韓国の高等教育最新事情）
- 遠藤誉・鄭仁豪編著（駐日本国大韓民国大使館教育官室監修）1997、『韓国大学全覧』厚有出版
- 井手弘人 2002、「韓国における国立大学の再編：「国立大学発展計画」による動向を中心に」『名古屋高等教育研究』2、pp.185-202
- 井手弘人 2007、「韓国高等教育における競争的資金配分と地方国立大学：統合・再編事業への国家『介入』過程とその意味」『比較教育学研究』35、pp.107-127
- 井手弘人 2010、「ここで起きているのは『未来の姿』か：『情報公開』の推進で競争原理再編を図る韓国」『カレッジマネジメント』163、pp.42-45
- 石川裕之 2012、「第7章 韓国における高等教育の質保証システムと学習成果アセスメントのインパクト」深堀聡子（研究代表者）『学習成果アセスメントのインパクトに関する総合的研究（プロジェクト研究・成果報告書）』国立教育政策研究所、pp.131-156
- Kim, Gwang-Jo. (Ministry of Education & Human Resources Development) 2005, “Higher Education Reform in South Korea : Policy Responses to a Changing World” in Higher Education Seminar, held by World Bank (2005年7月5日、モスクワ) PPT資料
(http://info.worldbank.org/etools/docs/library/166112/Session_1_Dr_Kim.pdf)
- Kim, Young-Chul. 2008, Understanding Korean Educational Policy, Vol.2 (Universalization of Tertiary Education), Korean Educational Development Institute.
(<http://eng.kedi.re.kr/khome/eng/education/educationSeries.do>) 2012年12月アクセス
- 金美蘭 2010、「韓国大学政策の動向」『IDE：現代の高等教育』518、pp.34-39
- Korean Educational Development Institute (KEDI) 2011 Brief Understanding of Korean Educational Policy.
- Korean Educational Development Institute (KEDI) 2006, OECD Thematic Review of Tertiary Education : Country Background Report for Korea.
- Lee, Hyun-Chong. (Secretary General, Korea Council for University Education) 2005, “Country Report : Korea” (which was delivered at the Eighth Session of the Regional Committee under the Regional Convention on the Recognition of Studies, Diplomas and Degrees in Higher Education in Asia and the Pacific)
- 米国 The Asia Pacific Academic Recognition Network HP より

- (http://www.aparnet.org/country_reports.htm#2005) 2012年12月アクセス
- Lee, Hye-Jung. (Center for Teaching & Learning, Seoul National University) 2009, "Higher Education in Korea 2009" (PPT document) 米国 East-West CenterHP (http://www.eastwestcenter.org/fileadmin/resources/education/ed2020_docs/Korea.ppt#291,2,2, South Korea at a Glance) 2012年12月アクセス
- 李星鎬 2006、「韓国的高等教育」アルトバック, P. G. & 馬越徹編『アジアの高等教育改革』玉川大学出版部, pp156-187
- 馬越徹 1995、『韓国近代大学の成立と展開』名古屋大学出版会
- 馬越徹 2006、「韓国の私立大学問題」『IDE：現代の高等教育』481, pp.54-58
- 馬越徹 2010a、『韓国大学改革のダイナミズム』東信堂
- 馬越徹 2010b、「韓国における学術・大学院政策の動向：日米比較の観点から」広島大学高等教育研究開発センター『戦略的研究プロジェクトシリーズⅡ 大学院教育の将来：世界の動向と日本の課題』（特別教育研究経費「21世紀知識基盤社会における大学・大学院改革の具体的方策に関する研究」平成20－24年度より）
- 水谷健輔・金泰勲・金鉉玉・朴炫貞 2010、「第1章 韓国における高等教育制度と大学の設置形態」『国立大学財務・経営センター研究報告』13, pp.15-39
- Ministry of Education, Science and Technology ; Korean Educational Development Institute (2008), 2008 BRIEF STATISTICS ON KOREAN EDUCATION.
- 文部科学省 2012、『平成24年度学校基本調査』政府統計の総合窓口 (e-Stat) (<http://www.e-stat.go.jp/SG1/estat/>) 2013.2.01アクセス
- 両角亜希子 2012、「韓国における私立大学の自律性：『経営不良大学』をめぐる政策動向を中心に」『大学経営政策研究』2, pp.41-63
- OECD 2012, Education at a Glance 2012 Highlights. (<http://www.oecd.org/edu/highlights.pdf>)
- 朴孟洙 1998、「韓国の大学教育改革：ミニ大学を中心として」『高等教育ジャーナル（北海道大学）』3, pp.65-75
- 朴炫貞 (Park, Hyunjung) 2011、「韓国高等教育政策の分析：『政策の窓』モデルの適用可能性」『東京大学大学院教育学研究科紀要』51, pp.93-101
- 田中凉子 2009、『CLAIR REPORT』No.339（特集：韓国の近代教育政策）、自治体国際化協会
- 東京大学大学院教育学研究科大学経営・政策コース夏期集中講義参加者 2008、『2008年夏学期「比較大学経営政策論（2）」報告書：韓国の大学の事例研究・大学の国際化』（<http://ump.p.u-tokyo.ac.jp/resource/20081105-Report-Sowelu.pdf>）
- 劉仁鍾 (You, In-Jong)／馬越徹訳 1978、「韓国の大学教育改革における実験大学の役

割」『大学論集』 6、pp.213-230

新聞・放送局 HP

ソウル聯合ニュース日本語版（2013年 1 月21日）、「ソウルの人口が 2 年連続減少」

(<http://japanese.yonhapnews.co.kr/headline>)

中央日報／中央日報日本語版（2012年 3 月19日）、「国の大学進学率72.5%… 3 年連続で急速な落ち込み」(<http://japanese.joins.com/article/>)

中央日報／中央日報日本語版（2011年09月07日）、「韓国の教育科学技術部、校費横領などで財政難の 2 大学に閉鎖を通知」 アドレス同上

朝鮮日報日本語版（2012年 12月27日）「私立大学設立者が80億円横領、3 度目の起訴」(<http://www.chosunonline.com/>)

KBS World 日本語版（2007年12月21日）「国立大は統合、私立大は定員減」(http://world.kbs.co.kr/japanese/korea/program_basicinfo_detail.htm?No=352)

公的機関 HP

・ 韓国の公的機関

MEST：(Korean) Ministry of Education, Science and Technology（韓国・教育科学技術部）(<http://english.mest.go.kr/enMain.do>)

Korean National Center for Education Statistics & Information
(<http://cesi.kedi.re.kr/index.jsp>)

KOSIS：Korea Statistical Information Service (<http://kosis.kr/eng/>)

KEDI：Korean Educational Development Institute
(<http://eng.kedi.re.kr/khome/eng/education/educationSeries.do>)

Higher Education in Korea (<http://heik.academyinfo.go.kr/main.tw>)

Study in Korea (http://www.studyinkorea.go.kr/ja/sub/overseas_info/)

・ 日本の公的機関

外務省 HP (<http://www.mofa.go.jp/mofaj/area/korea/data.html>)

文部科学省 HP (http://www.mext.go.jp/b_menu/toukei/002/index01.htm)

総務省統計局・政府統計の窓口 HP (<http://www.e-stat.go.jp>)

※ネット資料については、いずれも2012年12月～2013年 2 月にアクセス。